

***HIS***

HISグループ  
統合報告書  
**2024**

HIS Group  
Integrated Report 2024

***HIS***

## 社長メッセージ

2022年12月に「心躍る」を解き放つ”をHIS Group Purpose(存在意義)に策定してから1年が経ちました。HIS Group Purposeは、創業の原点と我々の提供価値を再確認し、グループ全体でその意思統一を図り、将来にわたり企業経営の規準とするものです。この1年でグループ内における浸透も順調に進み、存在意義を再認識し、スタッフ一人ひとりが前向きに業務に取り組んだ結果、コロナ禍の影響を受けた3期連続の営業赤字から、FY2023には黒字転換を果たすことができました。

HISグループは、1980年に格安航空券の販売で創業し、当時は高額商品であった海外旅行を手の届く価格で普及させ、多くの人々に未知との出会いや人との繋がりなどの「心躍る」体験のサポートをしてまいりました。現在は、旅行事業を中心に、ホテル事業、地方創生事業、保険事業などの旅行関連事業を展開するとともに、教育事業、飲食事業、商社事業、人材派遣事業、通信サービス事業などの多角化を図っています。今後は、創業50周年の2030年におけるHISグループの将来像として発表した、Vision2030「挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change & Create」を高く掲げ、持続的成長を遂げる企業になるべく邁進してまいります。

## Vision2030

### 挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change & Create

#### ○ 挑戦心あふれる

創業の原点である「挑戦心」。私たち自身が挑戦を続け、世界中の様々な挑戦を応援・支援することで、社会とともに成長し、よりよい未来をつくってまいります。

#### ○ 世界をつなぐ

我々の強みであるグローバルネットワークを活用し、世界をより近いものへ。地域社会という小さくとも密接な関係にある世界から、地球外に広がる宇宙までがビジネスフィールドです。

#### ○ 選ばれ続ける

HISグループだからこそ提供できる価値を創出し、お客様から、HISグループスタッフから、社会から、選ばれ続ける企業を目指してまいります。

2030年に迎える創業50周年までには7年の年月があり、今期よりその第1フェーズとして、FY2024-2026中期経営計画に取り組んでまいります。中期経営計画の方針は、「コア領域の変革」と「新規領域への挑戦」を両軸とし、その重点戦略として「生涯顧客の創造」「グローバルネットワークの活用」「人財戦略(人的資本経営)」をエンジンに据えています。そして、最終年度であるFY2026には、売却した事業を含めたFY2019の業績を超えることを目指すものです。HIS Group Philosophyを浸透・定着させ、Vision2030へのアプローチ、その手段としての中期経営計画の実現によって、幅広いステークホルダーの皆様に対して「心躍る」を解き放つ”価値の提供を行ってまいります。

今後も、持続的に発展し、社会的責任を果たし選ばれ続ける企業グループとなるべく、全社一丸となってグループの発展に取り組んでまいります。引き続き、皆様の叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社エイチ・アイ・エス  
代表取締役社長(CEO)

矢田 素史

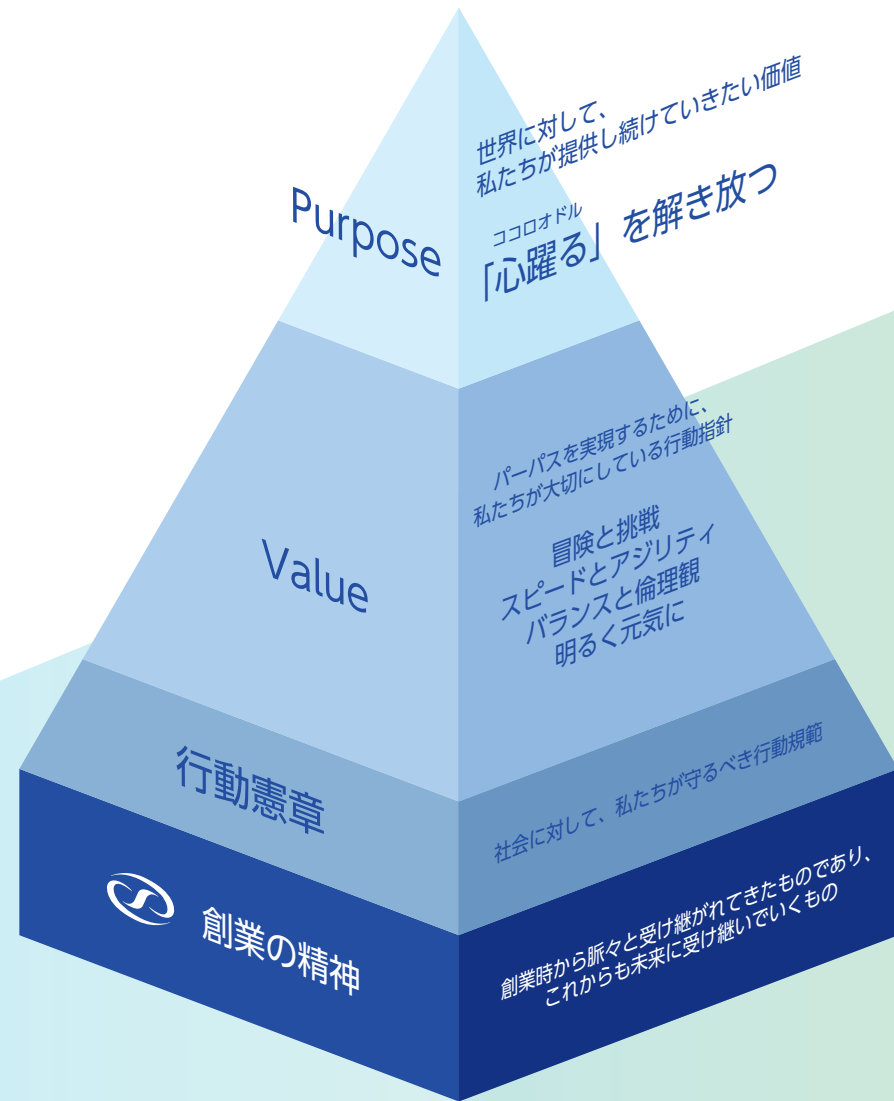
# CEO Message

## CONTENTS

- P1 社長メッセージ
- P3 HIS Group Philosophy
- P5 価値創造プロセス
- P7 中期経営計画
- P11 HISグループ体制
- P13 HISグローバルネットワーク
- P15 旅行事業
- P21 法人営業
- P27 ホテル事業
- P29 地方創生事業
- P31 その他の事業
- P33 新規事業
- P35 サステナビリティに関する取り組み
- P55 財務データ
- P57 財務方針
- P58 沿革
- P59 創業者メッセージ
- P61 会社概要

未来への挑戦と平和への想い

# HIS Group Philosophy



HIS Group Philosophyは、私たちの理念です。

社会における存在意義をしめす「HIS Group Purpose」と、  
実現するための行動指針「HIS Group Value」をもとに、  
皆様への価値の提供の最大化を目指してまいります。

## HIS Group Purpose

ココロオドル

# 「心躍る」を解き放つ

未知との出会い、人との繋がり、豊かな時間、ワクワク、高揚感、そして平和への想い。  
私たちは「心躍る」を解き放ち、未だ見ぬ世界をつくるため、冒険する挑戦者で在り続けます。

### パーパスに込めた思い

「旅を通じて未知との出会いを解き放ち、常識を問い直してきた創業時からの軌跡」と「常に“挑戦者”であるというアイデンティティ」をもとに、パーパスを策定しました。これからもあらゆる出会いと繋がりを創出し、豊かでかけがえのない時間の創造、相互理解を促進することで、世界を近づけ、新たな価値を提供していきます。

HIS Group Purpose 動画 ● <https://youtu.be/0vRiqXMirR8>



## HIS Group Value

### 冒険と挑戦

その挑戦は夢中で追いかける冒険か。

### スピードとアジリティ

直線的なスピードと、柔らかくしなやかなアジリティを持ち合わせているか。

### バランスと倫理観

過ぎたるは猶及ばざるが如し。バランスと倫理観を持ったうえで、判断できているか。

### 明るく元気に

活気のあるところに人が集まる。どんな状況においても常にプラス思考で行動できているか。

## 行動憲章

私たちは、右の8原則に従い、すべての法令や国際ルールを遵守するとともに、この憲章に対して常に高い倫理観と誠実さをもって行動することを目指します。この憲章に反するような事態が生じた場合には、速やかに事実確認と原因究明、情報開示にあたり、適切な対応と再発防止を徹底します。

役員と幹部社員は、この憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、社内体制の整備を行い、率先垂範してその実現を目指します。

1. 社会に有用な商品・サービスの提供
2. 公正・透明・自由な取引
3. 適正な情報管理と誠実なコミュニケーション
4. 快適で安全な職場環境の確保
5. 多様性、人格、個性の尊重
6. 地域・社会との共生
7. 地球環境の保全
8. 世界平和への希求

## 創業の精神

自然の摂理を大事にすべし  
礼節、謙譲を大切にすべし  
明と暗を正しく知るべし  
徹底努力の精神であるべし  
学ぶ事、耐える事をするべし



# 価値創造プロセス

HIS Group Purpose「心躍る」を解き放つの実現に向けた企業活動のすべてが、  
 HISグループの価値創造の姿です。  
 パーパスの実現に向け、HISグループ50周年に目指す姿 Vision2030を掲げ、  
 第一歩となるFY2024-2026 中期経営計画を策定しました。  
 マテリアリティ(重要課題)に対し、HISの強みとHIS Group Valueを掛け合わせ、  
 HISグループらしく挑戦をし、世界を繋いでいくことで、  
 社会とともに持続的に成長し、選ばれ続ける企業でありたいと考えています。

### 外部環境

機会

リスク

- a. 経済・社会情勢の変化
- b. 市場の変化
- c. 技術革新への対応
- d. 提供するサービスの安全管理・品質管理
- e. システム・設備の障害などによるサービスの中断・品質低下
- f. 人材の育成・確保
- g. 気候変動・環境規制
- h. ガバナンス
- i. 経理・財務

→ 詳細はP.53

### マテリアリティ(重要課題)

- ビジネスモデルの変革
- サービス品質の向上
- 多様な人財の活躍
- お客様への安心・安全の提供
- 地域社会との共生
- 地球環境の保全
- ガバナンス強化

→ 詳細はP.35

## HIS Group Purpose

ココロオドル

# 「心躍る」を解き放つ

未知との出会い、人との繋がり、豊かな時間、ワクワク、高揚感、そして平和への想い。  
 私たちは「心躍る」を解き放ち、未だ見ぬ世界をつくるため、冒険する挑戦者で在り続けます。

→ 詳細はP.4

## 【HISグループ50周年に目指す姿】Vision2030

# 挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change & Create

→ 詳細はP.2

## FY2024-2026 中期経営計画

# HISグループ50周年にむけた 「コア領域の変革」と「新規領域への挑戦」

アクションプラン 6項目	コア領域 [旅行業]	新規領域
	① グローバルネットワークの活用	
	② 生涯顧客の創造 (LTV最大化)	
	③ 業務効率化・コスト構造改革	④ 旅行関連事業・非旅行事業の成長
	⑤ M&Aによる成長(投資戦略)	
	⑥ 人財戦略(人的資本経営)	

→ 詳細はP.7

### HISの強み

- 顧客基盤
- グローバルネットワーク
- 人財

×

### HIS Group Value

- 冒険と挑戦
- スピードとアジリティ
- バランスと倫理観
- 明るく元気に

→ 詳細はP.4



# FY2024-2026 中期経営計画

## 方針 HISグループ50周年にむけた「コア領域の変革」と「新規領域への挑戦」

コア領域の変革は、基幹となる旅行業の収益性向上・構造改革に注力します。新規領域においては、ポートフォリオ再構築に向けての挑戦を続けていきます。


### アクションプラン ① グローバルネットワークの活用 コア領域 新規領域

海外の事業において、日本からの送客によるインバウンド事業のみならず、「グローバルマーケット」・「新規事業」領域を強化してまいります。事業構造を再構築し、「グローバルマーケット」・「新規事業」領域において、海外における事業の営業利益6割を目指します。グローバルマーケットを強化するとともに、北欧・アフリカ・南米などの観光資源が豊富な新規デスティネーションの開拓や、文化やサービスのグローバルな流通を促進する新規事業に取り組んでまいります。

#### 海外の事業におけるポートフォリオの再構築

##### グローバルマーケットの強化・拡大

- ◎Local Marketに特化したパートナー連携を強化し、海外における事業成長を牽引
- ◎商材の販路拡大  
より幅広いお客様にご利用いただくため、HISグループの枠を越え、販路を拡大し、新たなお客様との繋がり創出してまいります。



ハワイLeaLeaラウンジ

##### 新規デスティネーションの開拓

- ◎新たな旅先の観光マネジメント実施

顧客視点での満足度向上 × 地域交流や地域活性化

新たな旅先との出会いを創造し、オーバーツーリズム対策（観光客の分散）や、現地雇用機会の創出（地域社会との共生）へ取り組んでまいります。

→ 関連情報はP.16

##### グローバルネットワークを活用した新規事業の推進

- ◎海外日本語学校創設と日本への人材派遣  
労働人口が豊富な国に日本語学校を創設。卒業生をHISグループの人材派遣会社にて受け入れ、就労をサポートします。日本における労働人口の減少という社会課題に取り組んでまいります。

労働人口が豊富な国 日本

HIS (海外ネットワーク) 日本語学校・日本語検定・資格取得 → 査証取得・職業斡旋

GREEN OCEAN (人材派遣会社)

→ 関連情報はP.32

### アクションプラン ② 生涯顧客の創造 (LTV最大化) コア領域 新規領域

人生のあらゆるシーンで「選ばれ続ける企業」を目指してまいります。旅行においては、シームレスなサービス提供によるCX向上と顧客接点の拡大により、様々な旅のシーンで何度もHISをご利用いただくことを目指しています。→ 関連情報はP.17  
そして、旅行にとどまらず、ホテルをはじめとする旅行関連サービスや、飲食事業などの非旅行事業などの新規領域へも挑戦していき、様々なシーンでHISグループの商品・サービスをご利用いただく接点を増やしてまいります。

#### 人生のあらゆるシーンで「選ばれ続ける企業」へ

##### コア領域 (旅行)

###### 人生における様々な旅のシーンで



初めでの旅      ユニバーサルツーリズム      ハネムーン      三世代旅行

##### グループシナジー・新規領域

###### 日々の生活の中で

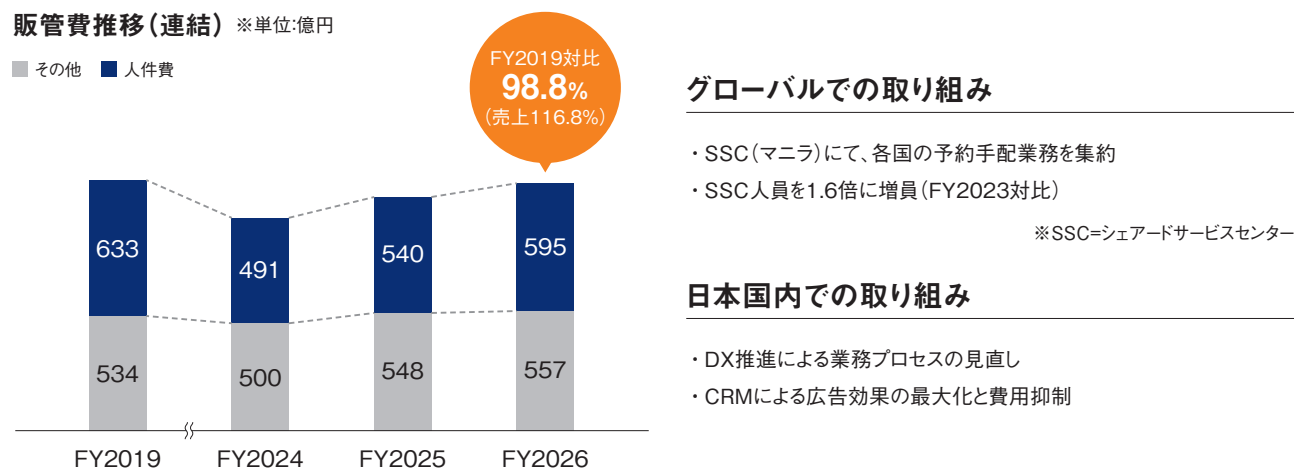
地域創生	九州産交	宿泊	HIS Water Holdings
通信	HIS Mobile	システム	SYS
飲食	いろは	物販	stoory

(グループ会社・新規事業一例)

### アクションプラン ③ 業務効率化・コスト構造改革 コア領域

グローバル視野での効率化推進として、マニラにあるシェアードサービスセンター (SSC) への業務集約に取り組んでいます。海外における予約手配業務を集約することで、全世界の約6割の業務を削減しています。

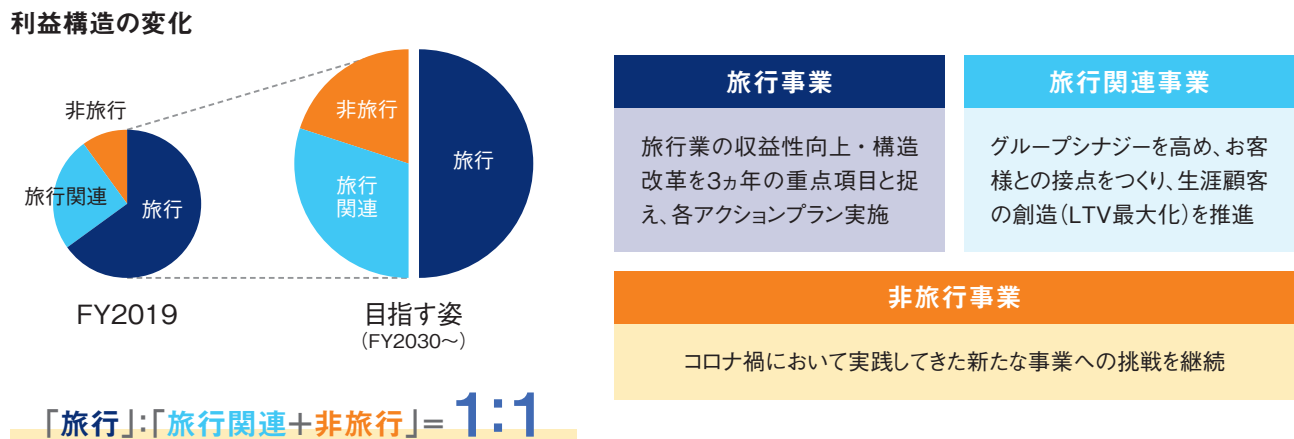
#### グローバル視野での業務集約とデータ活用による効率化推進



### アクションプラン ④ 旅行関連事業・非旅行事業の成長 新規領域

FY2019では全体の利益構造の約7割を旅行事業が占めていましたが、ポートフォリオ再構築に向けて、旅行関連・非旅行事業における利益比率の向上に取り組んでまいります。外部環境の変化に対する耐性を高め、持続的な成長を目指しています。

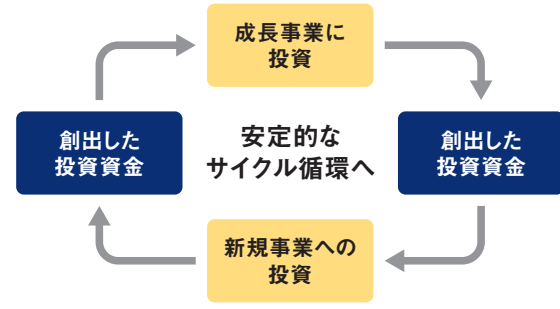
#### ポートフォリオ再構築に向けた挑戦を続け、持続的な成長へ



HISグループの持続的成長に向けた投資戦略

今後の投資方針・領域

持続的成長に向けた投資に関して、旅行・旅行関連領域では、既存事業とシナジーが見込める事業や補完関係にある事業へ、また、非旅行領域では、将来性がある新しい時代への事業に投資を計画していきます。



持続的成長に向けた投資戦略イメージ図

	旅行領域	旅行関連領域	非旅行領域
既存事業	HIS	九州産交	Canadian College
	GROUP MIKI	HIS Hotel Holdings	HIS Mobile
	merit travel	エイチ・エス損保	CROSS
	redlabel	ラグーナワンパス	SYS
今後の投資検討事業	<b>コア領域</b> HISグループ既存事業に対し、シナジー創出、または補完となる事業へ投資 MICE 関連    訪日 旅行    沖縄・北海道		<b>新規領域</b> 将来性ある新しい時代の事業へ投資 AI・宇宙・ヘルスケアなど

HISグループでは、人財が企業価値創造の源泉であると考えています。社員一人ひとりが働きがいを感じ、「心躍る」仕事ができる環境を整備し機会を提供することで、HISグループの変革、そして持続的成長を実現します。

→ 詳細はP.41

社員一人ひとりの“心躍る”を解き放ち、変革が巻き起こる基盤構築

重点課題	経営スピードの加速	多様な人財の活躍(DEIB推進)	エンゲージメントの向上
	変化に対応した人財ポートフォリオの構築	意思決定層の多様性拡大 多様な働き方の推進	HIS Group Philosophyへの共感 主体的なキャリア形成支援
FY2026 主要KPI	働きがい指数の向上 社員満足度調査 「働きがいのある会社である」全世界80% ※FY2023時点(単体)：56.1%	変革指数(人時生産性)の向上 FY2023対比1.6倍(単体)	

サステナビリティへの取り組み

事業を通じて、環境問題や社会問題に向き合い、SDGsに貢献することで、次世代の未来に繋いでまいります。世界中の人々が「心躍る」ことができる前提には、人や地域との繋がり・相互理解、健全な地球環境、そして世界平和が必要だと考えており、E・S・Gそれぞれの課題に対し、リスク・収益機会の両面で積極的かつ能動的に取り組んでまいります。

→ 詳細はP.35

連結経営目標

	FY2024	FY2025	FY2026
売上	3,500億円 (参考値) 旧基準：7,400億円・FY2019対比：92%	3,900億円 (参考値) 旧基準：8,600億円・FY2019対比：106%	4,300億円 (参考値) 旧基準：9,500億円・FY2019対比：117%
営業利益	90億円 FY2019対比：51%	120億円 FY2019対比：68%	180億円 FY2019対比：103%
営業利益率	2.6%	3.1%	4.2%
経常利益	72億円 FY2019対比：42%	100億円 FY2019対比：59%	160億円 FY2019対比：94%
自己資本比率	11%	13%	15%

財務施策/計画

財務方針：財務基盤の強化

資本増強

本業の利益積み上げ

有利子負債の削減

一部返済・本社社屋買戻し

事業の取捨選択

収益性・将来性の高い事業へ集中

財務基盤の強化に向けて上記3点を重点に取り組んでまいります。

資本増強においては、旅行事業を中心に純利益を積み上げることで実現してまいります。すでにHISグループを取り巻く外部環境は、アフターコロナの環境下により回復が加速しています。FY2026にはコロナ禍以前の利益水準へ回復させるべく、全事業において収益性向上を目指します。

有利子負債の削減においては、借入金の一部返済、社債の償還を行ってまいります。グループ内の現預金管理を徹底し、余剰な現金を眠らせることなく有利子負債を返済し、早期の本社社屋の買戻しを実行してまいります。

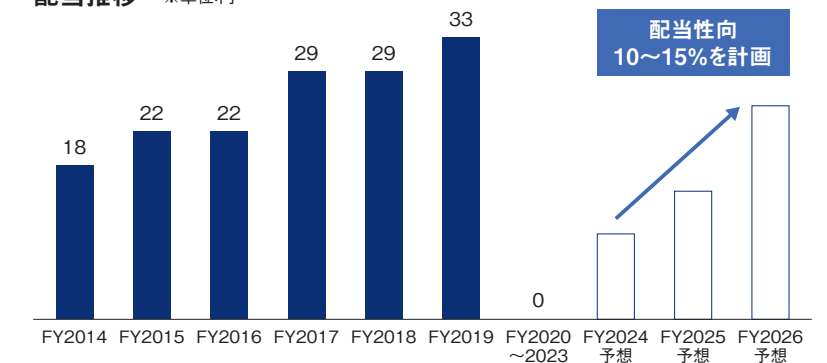
そして、事業の取捨選択を進めることで、限られた財源を、収益性・将来性の高い事業に集中させてまいります。

株主還元の基本方針

継続的かつ安定的な利益還元の再開へ

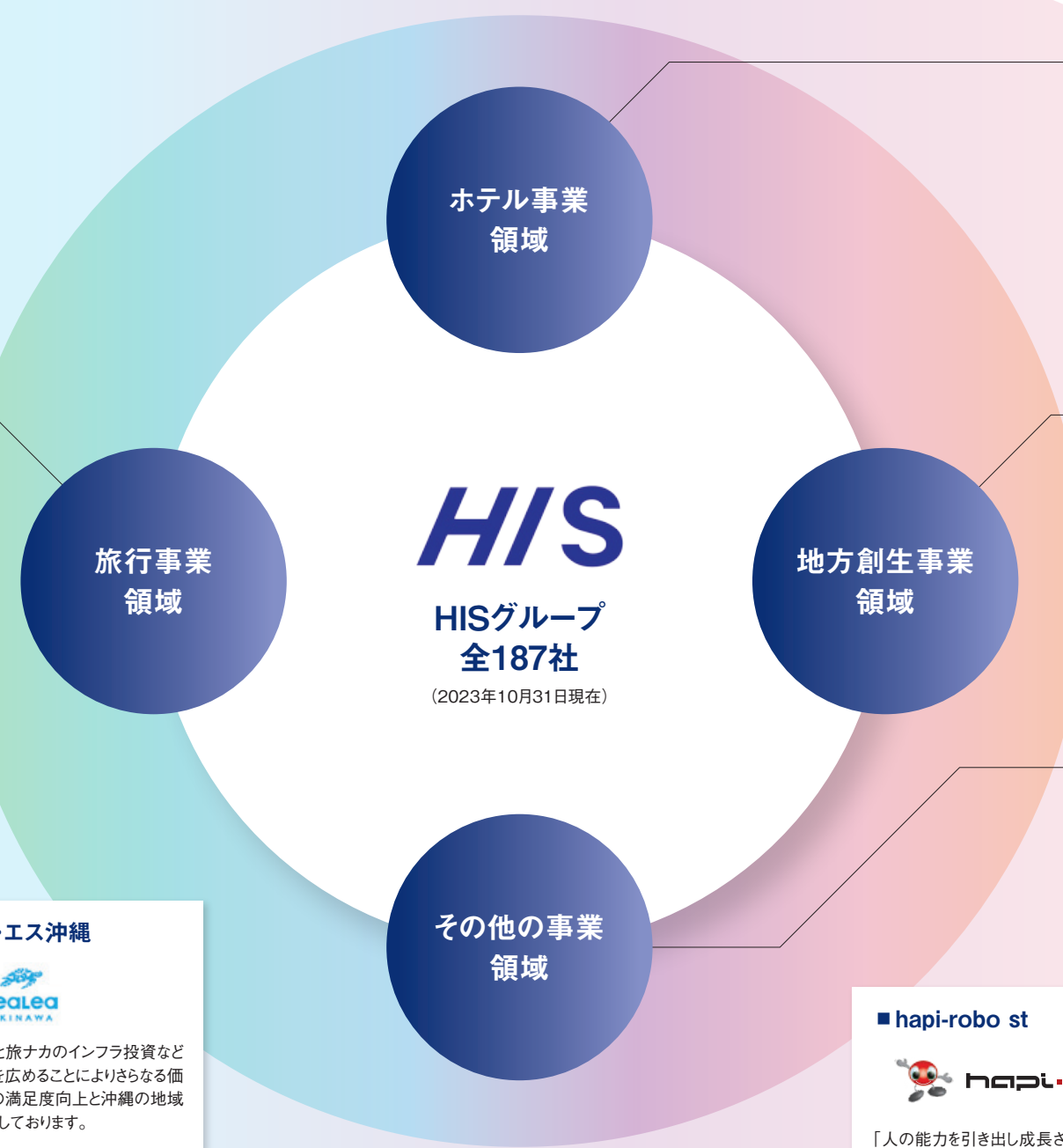
株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つとして認識しております。企業価値の向上を図りながら、世界情勢や旅行業界の動向、企業体質の強化と今後の事業展開などを総合的に勘案し、実績に応じて安定的かつ継続的に会社の利益配分を実施してまいりたいと考えています。業績の回復に沿って、従来からの基本方針である継続的かつ安定的な株主還元の実現に努めてまいります。

配当推移 ※単位:円



# HISグループでさらなるシナジーを

グループのシナジーを活かして生活のあらゆるシーンで  
お客様や社会全体に喜ばれるサービスや価値を提供してまいります。



**HIS**  
HISグループ  
全187社  
(2023年10月31日現在)

ホテル事業  
領域

旅行事業  
領域

地方創生事業  
領域

その他の事業  
領域

■ ナンバーワントラベル渋谷

外国籍の方に向け多言語にて海外・国内旅行を取り扱い。外国人マーケットでのNo.1シェアを目指しております。

■ オリオンツアー グループ

旅への期待や楽しみ方は十人十色。私たちは国内旅行の企画・販売を通じて十人百色の「夢・感動」「癒しとやすらぎ」をお届けし、次にまた選ばれるサービスを提供してまいります。

■ クルーズプラネット

カジュアル船から豪華客船まで、最新の情報に基づき世界中の魅力的なクルーズを手配いたします。個人旅行から添乗員同行ツアーまでクルーズのリーディングカンパニー。

■ 欧州エクスプレス

36か国29種類の海外鉄道バスを販売。ランドオペレーター事業は日本最大級。世界46か国の手配が可能。その他、航空券ホールセール事業やホテル予約サイトの事業を展開しています。

■ クオリタ

HISグループの高級旅行ブランド「QUALITA」では、ビジネス・ファーストクラスを利用した海外旅行、音楽鑑賞旅行、豪華列車で巡る国内旅行など、希少性が高い旅を提供しています。

■ ジャパンホリデートラベル

中国マーケットをメインに訪日旅行事業にて成長し、近年では中国だけでなく、東アジア、東南アジアからの取り扱いも増加しています。日本での旅を快適にサポート、サービスをご提供しております。

■ エイチ・アイ・エス沖縄

着地型旅行の強化と旅ナカのインフラ投資などを行い、沖縄の魅力を広めることによりさらなる価値を創造し、お客様の満足度向上と沖縄の地域社会への貢献を目指しております。

■ ツアー・ウェーブ

日本各地の主要空港発着オリジナル・パッケージ商品を企画しています。

■ Group MIKI

欧州ならびにアジアにて50年以上事業展開するグローバルツアーオペレーターです。確かな仕入れと手配力で、高品質な旅を提供しています。

■ FLY HUB TRAVEL

最高クラスのカスタマー体験を提供するオンライン旅行会社です。サイトまたはアプリを通じて旅行を検索、比較、予約できます。

■ HIS Canada Travel

2023年8月、HISカナダ法人、カナダを代表するツアーオペレーター会社「Jonview Canada」、オンラインに強い小売部門と卸売部門の二軸を持つカナダの旅行会社の「Red Label Vacations」が合併し、カナダにおける旅行事業を担っています。

■ MERIT TRAVEL

1991年に設立され、カナダのトロントを拠点に、ロイヤリティプログラムのトラベルデスクを運営するカナダの旅行会社です。

■ HISホテルホールディングス

→ 詳細はP.27

他13社

■ 九州産業交通ホールディングス

→ 詳細はP.29

他14社

■ ラグーナテンボス

→ 詳細はP.31

■ hapi-robo st

「人の能力を引き出し成長させる」ことで、人々を幸せにするというビジョンを持ったロボット会社です。

■ エイチ・エス損害保険

主力の旅行保険に加え、新たにペット保険市場へ参入し成長を続ける損害保険会社です。多様なリスクをカバーし、持続的な経営を行ってまいります。

■ エイチ・アイ・エス デザイン アンド プラス

1949年の創業以来、広告・プロモーション領域におけるサービスを提供しております。媒体仲介にとどまらず、クリエイティブ・デザインによる新たな価値提供をすべく事業展開を行ってまいります。

■ Cross E ホールディングス

施設管理をはじめ各種工事を行っている事業会社と、機械設置工事等をはじめインフラ整備を営む事業会社を傘下に持つ持株会社です。

■ エス・ワイ・エス

宿泊施設向けの宿泊直販予約システムや、宿泊施設内にある飲食、スパ、アクティビティなど、魅力的なコンテンツの直販とクロスセルを実現する直販予約システムを開発し、提供しています。

■ Canadian College & CCEL

バンクーバーにて1991年創立、世界各国から約1,000人の留学生が学ぶビジネスカレッジと語学学校です。

■ HIS Mobile

→ 詳細はP.32

■ グリーンオーシャン

→ 詳細はP.32

他21社

他115社



# 世界のここにもHIS 「安心」と「楽しい」をサポート

街を歩いていると目に留まるブルーのロゴ。  
ご旅行中にお困りごとがあれば、いつでもHIS現地支店にご連絡ください。  
世界各地で、お客様の安心で快適な旅をサポートいたします。

進出国数 **58カ国** **111都市** **155拠点**



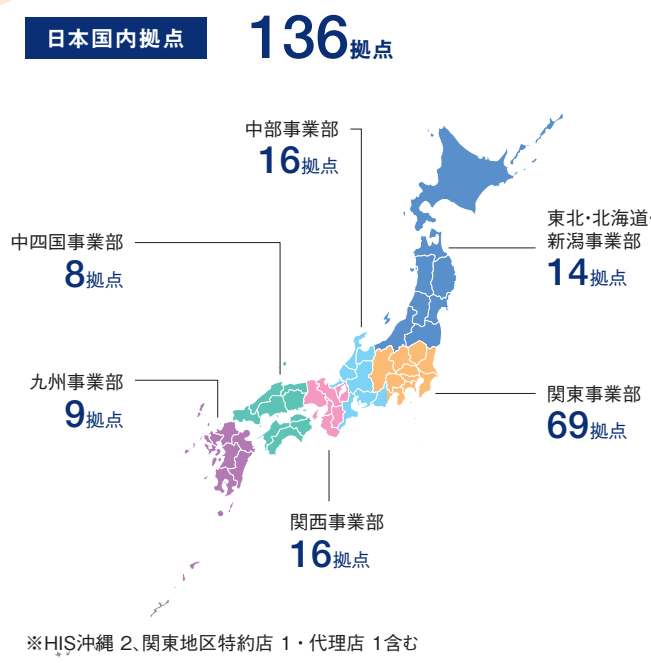
名古屋・栄本店



広島本店



福岡天神本店



仙台本店



新宿本社営業所



大阪・LINKS UMEDA営業所



イタリア・ローマツアーデスク



エジプト・カイロ支店



シンガポール支店



韓国・ソウル支店



ハワイ・Lealeaラウンジ (ホノルル・ロイヤルハワイアンセンター)



グアム・Lealeaラウンジ



ニュージーランド・クライストチャーチ支店

● 直営拠点 ● グループ/提携拠点

2024年1月31日現在



# 海外旅行

心が躍るような、  
特別な旅。

未知の世界との出会い、初めての体験や、憧れを実現する夢のようなひととき。そこには胸を打たれる瞬間や新しい発見、忘れられない感動がきっとあるはず。あなたの心に刻まれるような特別な旅をHISならではのアイデアと交渉力で実現しました。

## ～心躍る旅～

### 豪華絢爛な世界遺産 ヴェルサイユ宮殿を貸切見学

フランスにある世界遺産でも特に人気が高く、普段は大混雑しているヴェルサイユ宮殿を、出発日限定で開館前に貸し切りします。「鏡の間」をはじめとする宮殿内の見どころを、フランス政府公認ガイドによる説明を聞きながら、人混みを気にせずゆったりとご見学いただけます。



ヴェルサイユ宮殿(フランス)

### ハロン湾の絶景をチャーター船で優雅に堪能

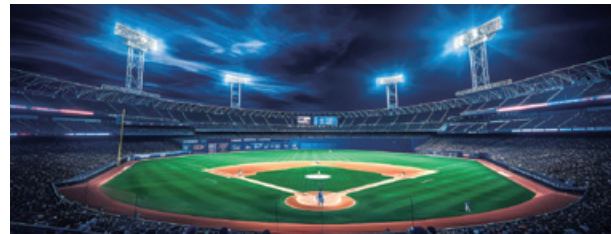
2021年に就航した、ハロン湾屈指のエレガントな客船「アンバサダークルーズ1号」をまるごと貸切。日本人スタッフも同乗で安心です。全46室、30mのゆとりあるキャabinは、全室にバルコニーも完備。HISオリジナルのルートとお食事で、心ゆくまでお楽しみいただけます。



アンバサダークルーズ(ベトナム)

### 本場アメリカで野球観戦 ロサンゼルス・Dチーム観戦チケット付ツアー

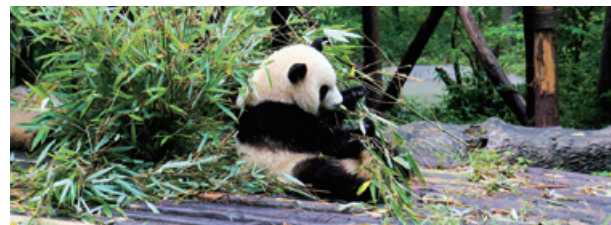
話題沸騰の日本人野球選手が所属するロサンゼルス・Dチーム観戦チケット付きツアー。各日1組2名限定で1階バックネット裏のお席を確保しました。選手の一挙手一投足を間近で感じることができる、臨場感あふれるお席で試合観戦をお楽しみいただけます。



スタジアムイメージ

### 2023年に帰国した 日本生まれのパンダたちと再会?!

上野生まれのシャンシャンが暮らす雅安、和歌山生まれの双子のパンダ桜浜・桃浜たちが暮らす成都を含めた、四川省にある3つのパンダ研究基地を訪れ、雅安ではパンダの一日飼育体験もできます。その他、四川省を代表する2つの世界遺産観光と、「陳麻婆豆腐」などの名物料理もご堪能いただけます。



成都パンダ繁育研究基地(中国)

「心躍る旅」特設ページ

<https://www.his-j.com/theme/kokoroodoru/kanto.html>



## 「ツアーグランプリ2023」 企画創造部門とSDGs部門 グランプリ受賞

一般社団法人日本旅行業協会が実施する「ツアーグランプリ2023」において、「海外旅行部門 企画創造部門」と「海外旅行部門 SDGs部門」においてそれぞれグランプリを受賞しました。旅行業における企画力およびマーケティング力の向上、「観光立国」の施策に寄与することを目的に、海外旅行・国内旅行で優れた企画旅行、訪日旅行で実施された企画提案の中から優れた作品が表彰されました。



受賞ツアー企画担当

### 受賞内容

■ 海外旅行部門 企画創造部門 グランプリ  
「王家の谷」と「王妃の谷」2つの谷を訪れる  
エジプト絶景横断8日間

[https://tour.his-j.com/02A\\_10/TI-LCE1003](https://tour.his-j.com/02A_10/TI-LCE1003)

※現在は、ツアー内容を一部変更して販売しております。  
(2024年3月現在)



■ 海外旅行部門 SDGs部門 グランプリ  
空飛ぶ車いすを世界に届けよう  
ベトナム・ホーチミン5日間

<https://eco.his-j.com/volunteer/tour/TF-FSF0005>



## サウジアラビア政府観光局と 観光促進に関する協定を締結

2023年11月、HISとサウジアラビア政府観光局は、サウジアラビアの観光促進に関する協定を締結しました。サウジアラビアは、2019年9月より観光ビザが解禁され、2022年にはイスラム教第二の聖地であるメディーナへの観光客受け入れを開始しています。HISは、旅行環境・体験を向上させることで、サウジアラビアの観光促進、ならびに送客強化を図ります。



サウジアラビア政府観光局との協定締結の様子

## オーストラリア政府観光局と 観光促進に関する業務提携を締結

HISは、オーストラリア政府観光局とオーストラリアへの観光促進に関する業務提携を締結いたしました。オーストラリアへの日本人訪問者数を新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで早期に回復させ、持続可能な成長を達成するために、選ばれるdestination開発戦略を策定し、相互協力のもとオーストラリア商品の開発およびプロモーションを実施いたします。



オーストラリア政府観光局との業務提携の様子

## Pick Up 次の旅を見つけに行こう 第3回「HIS大感謝祭」開催

“見る・聴く・食べる・体験する”を通して、新たな角度から旅に触れていただくことを目的とし、第3回「HIS大感謝祭」を2024年2月23日(金・祝)・24日(土)の2日間、新宿住友ビル三角広場にて開催し、2日間で延べ約1.4万人の方にご参加いただきました。

海外旅行を中心としたプロによる全18テーマの説明会や、航空券や宿泊券などが当たる大抽選会も開催。テーマごとの出展ブースではイベント、グッズ販売も行いました。その他、HIS旅行コンサルタントによる旅行相談コーナーや、フラスター、国内旅行のミニ説明会、キッチンカーでもお楽しみいただきました。また、イベントのフィナーレでは、「一思いのせてー スカイランタン®打ち上げ体験」をチャリティイベントとして開催し、参加費および当日イベント会場での皆様からお預かりした寄付金を「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」へ寄付いたしました。



大感謝祭での説明会の様子

HIS海外旅行サイト

<https://www.his-j.com/kaigai/Default.aspx>





# 国内旅行

ニッポンを  
駆け巡ろう!  
国内旅行もHIS

ご出発前、ご旅行中も安心して便利にご旅行をお楽しみいただけるよう、HISでは各種サービスをご用意しております。

## HIS特別貸切「幻想的な津南ランタン打ち上げ体験」

2024年1月20日(土)にHIS特別貸切「幻想的な津南ランタン打ち上げ体験」を実施しました。首都圏、中部より500名以上のお客様にご参加いただき、皆様の願いを込めたランタンを空に打ち上げ幻想的な絶景となりました。その後、長岡まつり大花火大会にも参加している小千谷煙火興業によるHISスペシャル花火を打ち上げ、夜空を華やかに彩りました。ランタンと花火のコラボレーションは、多くのお客様より感動のお声をいただけるイベントとなりました。



津南ランタン打ち上げ

## FDAチャーター便で行く 種子島・屋久島ツアー発売

フジドリームエアラインズ(FDA)とチャーター契約を締結し、2024年3月2日(土)HISとしては関東初となる種子島チャーター便を利用した種子島・屋久島ツアーを実施いたしました。

チャーター直行便を利用することで乗り継ぐことなくスムーズに移動でき、宇宙に近い島・種子島では宇宙センターや種子島の歴史探訪を、世界自然遺産・屋久島では圧倒的な大自然をご体験いただき、ご満足のお声をいただけるツアーとなりました。



種子島宇宙センター

## 沖縄「HIS LeaLea読谷シャトル」を 新規運行

誰でも沖縄の美しいビーチで海水浴をお楽しみいただけるよう、那覇市内から透明度が高く遠浅で海水浴に人気のニライビーチまでの読谷(よみたん)村エリアへのシャトルを新規運行します。バスを活用いただくことで、運転免許がない、または運転に不安がありレンタカーを利用せず旅行を計画されているお客様や、二次交通の確保でお困りのお客様のご旅行に、少しでもサポートができればと考えております。



ニライビーチ

## Pick Up オンラインを活用した「ビデオチャット接客」

2021年より、店舗混雑時にもお待たせすることなく、スタッフによる接客を受けていただくことができるよう、オンラインを活用した「ビデオチャット接客」を導入しております。

場所を問わずどこからでも相談ができるので、外出できない方や時間が限られている方も安心して旅行の専門スタッフにご旅行をご相談いただけます。北海道・青森・福岡には、ビデオチャット接客専用の無人店舗も出店。ブースに設置された端末デバイスのモニター越しに、オンラインにてHISスタッフが旅行の相談から予約までご案内いたします。

また、「タレントマッチング」サービスにより、お客様の旅行ニーズとスタッフの経験や得意領域をマッチングさせ、より高品質なコンサルティングを行います。2024年2月には、タレントマッチ機能を利用した「海外ディズニーリゾート専門店」がオープンいたしました。

■「海外ディズニーリゾート専門店」:  
<https://www.his-j.com/theme/disney/kaigai/kanto.html>



博多マルイ  
オンライン接客カウンターイメージ

## 「HISホテルアワード2023」受賞施設発表



2022年11月～2023年10月の1年間でお客からの高い支持を受け、顕著な実績を上げた宿泊施設を表彰する「HISホテルアワード2023」を発表いたしました。HISホテルアワードとは、全国のHIS登録宿泊施設を対象に、その年にお客からの高い支持を受け、顕著な実績を上げた宿泊施設を表彰するもので、各エリアの素晴らしい施設を共有するとともに、お客様が宿泊施設を検討される際の一つの指標としてご利用いただくことを目的とし、今年から新設いたしました。エリアごとに、優秀施設賞、飛躍的な躍進を遂げた躍進賞を選出しております。

■「HISホテルアワード2023」サイト:  
<https://www.his-j.com/kokunai/hotels/award/>



## 「HISふるさと納税クーポン」の取り扱いを開始



ふるさと納税で自治体に寄附した際に返礼品として選べる「HISふるさと納税クーポン」の取り扱いを開始いたしました。宮崎県宮崎市からはじまり、現在5つの自治体で提供しております。HISふるさと納税クーポンは、自治体にふるさと納税をされた方が寄附金額の最大30%を返礼として受け取り、その自治体への旅行予約時に使うことができるクーポンです。1クーポン=1円としてご利用いただけます。

■「HISふるさと納税」サイト:  
<https://www.his-j.com/kokunai/theme/furusato/>



## ココがすごい! HISのツアー

### ～国内ツアー～

#### ●HISならではの豊富なセレクト商品

飛行機とホテルがセットになった、お得なHISのパッケージツアー。一人旅から家族で泊まれるお部屋、こども添い寝商品等もご用意。

#### ●LCCも含め主要路線を網羅で、 格安ツアーも多彩にラインナップ

ANA、JALはもちろん、スカイマークや価格が魅力のLCCまで、各航空会社の商品をご用意。ご希望の発着地やフライト時間に合わせた選択が可能です。

#### ●HISオリジナルの滞在プラン

グルメやホテル特典、シャトルバスなど、HISだけの素材を組み合わせた滞在プランも多数。さらにレンタカーやオプションツアーなどのアレンジも充実。

#### ●お好みに合わせた商品選択

リゾートホテルに温泉旅館、都市型ホテルなど、旅行スタイルに合わせた宿泊選択に加え、ホテルの分泊が可能なチョイス型商品もご用意しています。

#### ●沖縄旅行をしっかりサポート HIS LeaLeaラウンジOKINAWA

荷物お預かりやベビーカー無料貸出などHISをご利用のお客様に特別なサービスを多数ご用意。北谷行きシャトルバスも無料で利用できます。

#### ●万が一の時も安心

ご利用予定の復路便が台風による荒天などで欠航となり、やむを得なく宿泊を伴う事態となった場合、お一人様5,000円を上限に宿泊費をサポートする商品もご用意しています。

### ～バスツアー～

#### ●全国主要都市から出発

東京、横浜、大阪、名古屋、福岡など日本全国の主要都市から日帰りツアーや宿泊ツアーなど多彩なラインナップ。

#### ●HISオリジナルのこだわり商品

食べ放題、果物狩り、イベントなど、様々なテーマでHISだけのオリジナル商品をご用意。全コースに添乗員が同行するため安心です。

#### ●前日まで予約可能

ご出発の前日まで予約が可能。急な旅行も思い立ったらその場でオンラインから予約いただけます。

HIS国内旅行サイト

<https://his-j.com/kokunai>





# 訪日旅行

魅力ある日本を  
体験いただき  
地方活性化の  
一助に

## 訪日旅行完全復活

2022年10月より本格的に再開した訪日旅行。HISでも2023年桜シーズンの春、紅葉シーズンの秋に多くの訪日客の受け入れを行いました。アフターコロナで約3年ぶりにMICE事業も活性化し、褒賞旅行や周年旅行の受け入れも本格的に再開いたしました。



周年旅行の団体受け入れ

## 地方自治体との連携強化



シンガポールの旅行博での鳥取県PRの様子

訪日観光客の受け入れに取り組む地方自治体とのプロモーション事業や共同商品開発などを積極的に推進しました。2023年8月には「インバウンド観光促進協定」を締結している

鳥取県に「HIS すなば国 訪日レップオフィス」を開設し、海外における鳥取県のブランド力向上、海外プロモーションの展開を強化しました。

## Pick Up 海外旅行博への出展

2024年1月に4日間で延べ27.5万人が来場した、タイ最大規模の旅行博覧会「Thai International Travel Fair#29」において、地方自治体や連携企業とHISタイ法人、訪日事業部が連携し、日本各地のPRおよび桜シーズンやソングクラン(タイ王国における旧正月)の需要に向けた訪日商材の販売を実施しました。海外の旅行イベントも再開されており今後も積極的に参加して日本の魅力を発信します。



Thai International Travel Fair#29の様子

おもてなしの心を世界中の人々へ届けるために、次の10年を見据えた訪日旅行の形をご提案。

## 商品開発と流通

訪日観光客向けバスツアーの造成、高付加価値旅行の提案などを様々な商材流通チャンネルを通して展開しました。また各国のマーケットに合わせたSNSを活用し、観光情報や商品情報の発信も強化しました。厳格な安全対策を講じ、お客様から高い信頼性を獲得したことから、商品販売連携しているKKdayより「サプライヤーアワード2024」にて「Best Service賞」を受賞しました。



富士バスツアーの様子

## 旅ナカ店舗(観光案内所)の強化



自治体との連携イベントの様子

世界中からご来店をいただく訪日観光客の皆様、「笑顔」になっていただくことを心がけ、観光案内のみならず、日本各地の特産品の販売や観光プロモーション、自治体や企業と連携

したイベント開催などにより、持続可能な地域・社会への一助となるよう取り組んでいます。(東京・原宿、京都、東京・豊洲)

# 海外の旅行事業

地域ごとのニーズに合わせた事業展開、新しい需要・トレンドの創出に取り組み続けます。

## アメリカ 持続可能な観光の未来をつくるSAF分野への出資

HISは、アメリカ法人を通じて、ユナイテッド航空が設立した持続可能な航空燃料(SAF)の研究と開発に焦点をあてた「ユナイテッド・エアラインズ・ベンチャーズ・サステナブル・フライト・ファンド(UNITED AIRLINES VENTURES SUSTAINABLE FLIGHT FUND)」に対し、出資いたしました。日系旅行会社によるSAF分野への出資は初となります。現在、「観光産業」は世界の温室効果ガス排出量の約8%を占め、うち「航空移動」は約2%を占めています。観光産業に身を置く企業として、移動における温室効果ガス削減に取り組むことは事業の未来のために重要であると捉え、世界のリーディングカンパニーとともに、SAFに関する新技術開発支援、商業化および生産規模の拡大を支援してまいります。またHISでは今後、ユナイテッド航空指定でサステナブルなツアー商品の販売を開始し、グリーンシール認証ホテル滞在や電気自動車(EV)での空港送迎オプションなどを加えた持続可能な旅行商品を展開していく予定です。



イメージ

## インドネシア インドネシアの教育基金プロジェクトへ参画



LPDP カスタマーセンター

インドネシア法人は、インドネシア共和国財務省のもと設立されたインドネシア教育基金(LPDP)のプロジェクトに参画しています。本プロジェクトは、優秀なインドネシアの学生に奨学金を提供し、国の発展に将来貢献する人材を育成することを目的としており、受賞者はインドネシア国内外の大学で学べるほか、研究資金や帰国後の活動支援を行っています。提供される資金の構成要素には、教育費用、授業料、交通費や生活費等のサポート資金等、受賞者が学業に専念するために必要な資金が含まれます。インドネシア法人は、インドネシアの教育・人材育成に貢献するため本プロジェクトへの参画を決め、2022年から2年連続、様々な教育・交流プログラムの活動に関する航空券手配業務を受託。年間3万人以上の参加者の航空券手配を一手に引き受け、LPDP職員の出張手配のサポートも行っています。

## マレーシア 中学生から大学生対象の語学研修ツアーを主催



マレーシア発日本行き研修ツアー

マレーシア法人では、中学生から大学生を対象とする語学研修ツアーを主催しています。日本発マレーシア行きインバウンドツアーは、パンデミックの影響で一時募集を停止していましたが、コロナ禍で減ってしまった国際交流の機会を日本の学生に提供するため、2024年2月催行分より販売を再開しました。座学だけでなく、週末のアクティビティに参加することで、よりマレーシアという国を楽しめる構成となっています。マレーシア発日本行きアウトバウンドツアーは、体験学習や日本人学生との交流を通じて、マレーシアの学生の海外に対する心理的なハードルを下げ、留学など将来のビジョンを描きかけとなることを目的として、2024年に新しく造成されました。この語学研修ツアーを通し、日本とマレーシアの交流が深まることを期待しています。

## ~海外法人主催の訪日ツアーをご紹介します~

## スペイン スペイン語ガイド付きツアー「YOKOSO JAPON」

スペイン法人は、現地スペイン人マーケットを対象として、東京・高山・金沢・京都を巡るスペイン語ガイド付きツアー「YOKOSO JAPON」を主催しています。最大10名の少人数催行で、オプションツアーも追加でき、よりお客様のご希望に沿えるツアーとなっております。短期間でリーズナブルに日本の見どころを回れ、スペイン語ガイドが同行することから安心感があるなど、お客様からも好評を得ています。また、より多くのお客様に認知していただけるよう、訪日旅行誘致プロモーションで連携している金沢市と協力して、スペインで開催される世界最大規模の国際旅行博に毎年出展しています。



旅行博にて、金沢市職員の皆様とHISマドリッド支店スタッフ

## ハワイ ハワイローカル番組「Ultimate Japan」とのコラボツアー

ハワイ法人は、ローカルTV番組「Ultimate Japan」とコラボし、2023年4月に桜シーズンに東北を旅するツアー「Tohoku Sakura Tour」、12月に日本海のグルメを楽しむツアー「Japan Sea Gourmet Tour」を催行しました。ツアー中はカメラマンが同行し、催行後には番組にて放映されるため、参加者は旅アトにツアーの思い出を振り返ることができることも本ツアーの特徴です。両ツアーとも定員30名分が完売し、2024年以降に開催予定の北海道・青森ツアーも完売。今後も日本の見どころを伝えられるツアーを開催していきます。



Japan Sea Gourmet Tourの様子



# Co-Creating the Future

with our unconventional idea

不確実性の高い時代。常識にとらわれない新たな発想で、ソリューションをご提案いたします。



## 法人・企業

### 未来を共創するビジネスパートナー

グローバルネットワークを活用したソリューション提供により持続可能な企業の成長をともに目指します。

#### 出張手配・管理

出張をより快適で安全に、皆様に最も適した運用をご提案

企業は外部環境の変化によるあらゆる対応の見直しを常に求められます。HISでは豊富なリソースを活用し、出張時取るべき対策を明確にして、安心・安全な海外へのビジネス展開を実現いたします。システム導入によりオンラインにて予約手配も可能で、急な出張も安心です。

HISでは、直接的な出張経費削減のみならず、利用実績に基づいたコンサルティング、出張規定の見直しや経費関連業務の効率化、危機管理等、出張を包括的にサポートいたします。



イメージ

#### 団体旅行

時流に合わせた新しいコンテンツを盛り込みながら、オリジナルプランをプロデュース



イメージ

旅行会社として培ったノウハウを活かし、チームビルディング等組織の一体感を創る社員旅行、参加者のモチベーションを最大限向上させる報奨旅行、他にもSDGs研修旅行や視察旅行等、企業の目的やニーズに合わせたご旅行を豊富な経験・実績あるスタッフがプロデュースいたします。

#### 企業イベント

事務局運営から開催までを一元化し、会議・総会をトータルプロデュース



イメージ

国内会議や海外での国際会議、内定式や入社式、社員研修や表彰式等、様々な企業イベントの運営をサポートいたします。またスピーディな情報提供とサポート体制を活かした、MICE(学会・展示会など)はリアル開催、オンライン配信などご要望に沿った実施が可能です。オリジナリティあるプランで満足度の高い運営を実現いたします。

#### ベネフィット(福利厚生)

旅行優待サービスや健康経営など、導入目的に合わせた豊富なプログラムをご用意

企業定着率の向上、仕事環境確保、健康経営の推進など、企業様によって導入目的は様々です。従業員様、従業員のご家族様の幸せと健康的で豊かな生活の支援の一助にお役立てください。



イメージ

#### HISの総合福利厚生サービス「リーヴェ」



リーヴェは契約企業様だけがご利用になれる旅行優待と健康・福利厚生支援アプリが一つになった会員制の福利厚生パッケージサービスです。旅行優待はもちろん、健康診断結果データの一元管理、個人ごとの健康状態管理、スキルアップのための無料eラーニングや、人気飲食店・レジャー施設などの優待割引を自由にご利用いただけます。

<https://liive-wellness.com/top/>



#### HR Lab.事業

→ 詳細はP.47

人事領域での確固たる事業パートナー HR Lab.は働く人に「輝き」を

「きっかけを創り、人と組織の成長を実現」をスローガンに掲げ、お客様の課題解決のために業務展開をしています。



イメージ

<https://www.his-j.com/corp/hrlab/>



イメージ



## 地域ので 日本を元気に

旅行会社として蓄積したノウハウと国内外のネットワークを活用し、地域の活性化と自治体・行政機関の課題をともに解決します。



### 地域ブランディング事業

HISのグローバルネットワークを活用して関係人口を創出



自治体が行う地域振興や地域活性化のための活動支援を行います。日本の各地域の課題をともに考え、その地域ならではの要素を加え問題解決をすることで地域経済や地域社会の活性化に寄与いたします。

地域が持つ特性や魅力を最大限に活かし、特産品、観光資源などを活用して、認知度の向上や観光者の誘客、地域産業の振興などのために、グローバルネットワークを活用したプロモーション施策を提供いたします。

### 地域観光支援事業

HISグループの経営資源と地域の特性を活かした新たな地方創生

旅行事業のノウハウと国内外のネットワークのみならず、ホテル事業、テーマパーク事業、地方創生事業等で培った知見とHISグループの経営資源を活かし、地域が抱える様々な課題に対して一過性ではない持続的な課題解決を目指しつつ、地域の「稼ぐ力」の創出に取り組みます。

日本の古き良きコンテンツを再発掘し、地域の文化・環境を活かした事業でリブランディングすることで潜在的な価値を引き上げ、新たなビジネスモデルの創出と地域の活性化を目指します。

同じ志を持つパートナー企業とも協働し、新たな事業領域に挑戦することで、地方創生事業の可能性を広げます。

### 訪日プロモーション事業

地域活性化に向けた効果的な訪日プロモーション活動



海外からの誘客の戦略的な訪日プロモーションの取り組みが求められています。現地メディアや旅行会社へのアプローチ、旅行博やイベントの提案、各市場の動向やマーケットの状況調査・報告まで、HISが海外現地でサポートいたします。国内におけるインバウンド消費に繋がる高付加価値のコンテンツ作成から流通、SNSやリアル店舗を使ったプロモーション、販売までを一気通貫でサポートいたします。



### 事務局運営事業/BPO事業

旅行業で培ったホスピタリティを活かし、行政分野の事務局などを効率的に運営



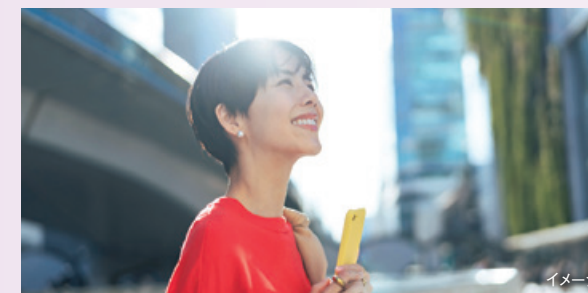
#### イベント・会議運営事業

HISでは、国内外のイベント、会議、シンポジウム、商談会等様々なイベントを企画・運営しています。経験豊富な人材と、これまでの実績を活かした事務局運営ノウハウを活用し、ご要望に応じた多種多様なアレンジに対応し、「心躍る」イベントを演出します。移動手配の受付からイベント実施まで、サポートします。



#### 支援金・給付金の申請事務局運営事業

旅行事業で培った綿密な事業設計と運営ノウハウを用い、最適な人員体制と集中的なBPOセンターを構築することで、行政分野の事務局において業務の効率化とコスト削減、サービスアップをお手伝いします。



#### 地域プレミアム商品券・キャッシュレスポイント還元事業

地域振興券、プレミアム商品券を電子化し、地域の経済やコミュニティの活性化を促進します。デジタル化の導入支援や、告知・広報、コールセンターなど一括した事務局運営をサポートします。電子と紙のハイブリッド型商品券の対応も可能です。

### スポーツ事業

スポーツと人を世界で繋げ、  
スポーツの成長産業化に向けて、  
新しい価値・感動を提供

スポーツ競技団体を中心に、選手・関係者・学生団体の遠征・合宿のサポート、大会事務局運営業務を行っております。

また、海外・国内のスポーツ観戦ツアーでは「スポーツホスピタリティ」をテーマにし、サッカー・マラソンなどオンリーワンの観戦ツアーを多数用意しており、お客様に付加価値ある体験をご提供しています。

「スポーツ」というコンテンツで、お客様に新しい価値・感動を提供していき、地域・企業向けソリューションとしてもご利用いただけるように取り組んでいます。





学校・教育機関

# 気づき、そして未来へ 多様な人材を

修学旅行や研修の企画手配だけでなく、  
学校の発展に繋がる包括事業を提案し、課題解決へ向けた未来を展開します。  
世界中のネットワークによる安全性を軸に、  
より多くの皆様へグローバルマインドシッの醸成と促進の機会を提供し、  
将来を創造する事業を展開します。



イメージ

## 修学旅行

修学旅行、研修旅行など目的特化型旅行では、探究型・アクティブラーニング型の旅行で、急速な社会の変化に対応すべく学生・生徒の「思考力」「判断力」「表現力」を磨きます。SDGsを取り入れるなど時流に合わせた新たな試みを盛り込みながら、旅の楽しさを残し、自らが主体的に学び、解決していく探求型修学旅行を提案いたします。

## 海外留学・語学研修

政府は2033年までに日本人学生の留学を50万人にする目標を掲げました。今後、さらに需要が高まる海外留学や語学研修において、豊富な実績と海外ネットワークを活用し包括的に安心・安全をサポートします。また、語学力向上に加え、異文化交流、キャリア形成、専門分野特化型プログラムなど、ご要望に合わせた運用プログラムをご提案します。

## 国内留学・語学研修

物価の高騰や円安、原油高の影響もあり海外航空券の価格が上昇しております。ハードルの上ってしまった海外留学に対応したニューノーマルな語学研修として、日本国内での英語研修施設の提案もしております。国内だから手軽で安心・安全。今すぐ本気で英語力を伸ばしたい、異文化体験をしたいなど、まさに海外留学と同様の成果を得ることができます。

## キャリア支援

HISのグローバルネットワークを通じて、海外で活躍するビジネスパーソンと協力し、学校のオリジナリティの創出や、学生・生徒が社会で働くためのスキル、マインドを育むキャリアプログラムを提供します。海外インターンシップでは、HISの海外支店だけでなく他業種も含めた職業体験の提案や、語学研修プログラムと合わせた提案も可能です。キャリア開発を支援するプログラムをご提供しております。



## 留学・語学研修 包括支援サービス

現地協定大学派遣留学の包括支援を行います。航空券の手配だけでなく、現地大学への送金、アプリケーションフォーム回収などの業務受託を大学様のご要望に応じて行います。大学国際交流における事務職員の業務負担軽減を目的に、留学説明会の実施や募集活動のシステム化、海外渡航手続きや危機管理業務のサポート、留学保険の手続きなど、各大学の状況に柔軟に対応します。国際化推進を目的にオンラインプログラムの開催や国内施設での代案など、本来の業務に集中できるようサポートいたします。

### 包括運用体制の構築

これまで複数の業者に委託していた業務を、HISに一本化することにより、効率的な業務フローを構築いたします。

### 渡航者管理システムの導入

HISでは渡航者を管理するシステムの提供を行っています。受付時課題や学生様管理課題の整理を代行し、業務負担の軽減を図ります。

### 危機管理体制

HISの海外ネットワークを活用しサポートいたします。非常時に備え柔軟に対応させていただきます。

商社事業

# 「モノ」や「事業」も世界へ届け 世界中を活性化させたい

旅行事業で培ったHISのリソースを二次活用して、  
新たな領域で「人と地域」に活力を与え  
世界中を活性化させることを目指しています。

## HIS FOOD PROJECT

### 食を通じて、人と繋がり、未来をつくる

日本や海外に存在する魅力ある商品をより多くの人や地域に届けることで、生産者や産地に活力を与えることを目指しています。主な取り組みとしては、質の高い日本産品の輸出販売や海外販路開拓の支援、国内販路拡大を目的としたマーケティング・ブランディングの企画・提案・実行などを行っています。

## フランチャイズ・ライセンス

### JAPANブランドの価値を世界に届けるパートナー

HISの海外支店では、飲食事業、アパレル事業、商社事業などをコロナ禍でスタートさせ、同時に新たなビジネスネットワークを成長させています。それらのネットワークを活用し、海外フランチャイズ事業展開や、販路・商流開拓の専属パートナーとしてJAPANブランドの価値を届け、企業様の事業拡大をサポートしています。

## アクセラレーター事業(業務提携・成長支援)

### HISリソースを駆使し、事業拡大の伴走者に

プロトタイプが完成しているスタートアップ企業の成長を加速させ、その企業とともに、HISにも社会にも変革をもたらすことを目的として実施する事業モデルです。対象とする企業とは対等なパートナーとなり、資金の投入ではなく、HISの持つあらゆるリソースを適宜駆使し、事業並走していくことで目的を実現いたします。

## その他

- ①危機管理商材の販売 旅行の安心安全の管理から派生して、企業向けに危機管理商材のご提案を行っております。
- ②カフェの運営 The ROOM of journey CAFE(東京・池袋)、変なカフェ(東京・渋谷)の2店舗を運営しております。



イメージ

## SDGs

→ 関連情報はP.37

### 「旅」はSDGs実装に向かう企業のグッドプラクティス

世の中のSDGsへの取り組みはさらに加速し、企業のSDGsへの動きも「学び」だけではなく「実装」へさらなる具体的な取り組みと成果が求められています。そうした企業のSDGs実現に向け、「旅」によるソリューションを提案いたします。世界のリアルを知り、社会課題を知る。そしてビジネスの可能性を感じるための「旅」。より良いSDGs経営の推進力の一助となるべく、「旅」の力を提供してまいります。



# ホテルを基点とした旅の楽しさ、 ビジネスシーンでの利便性を実現



変なホテル東京 銀座

変なホテル舞浜 東京ベイ

「繋がる」「快適」「先進的」「遊び心」「生産性」の5つをコアバリューに掲げ追求、生産性／効率性を掛け合わせ、お客様へよりリーズナブルに、より人生のスパイスとなるような楽しい体験を提供していきます。  
HISホテルホールディングスでは現在6つの国・地域に8ブランド42施設を展開しています。

## 変なホテル



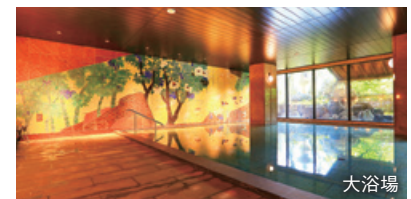
変なホテルのポリシーは「変わり続けることを約束するホテル」。お客様のニーズにきめ細かく応えていくには、地域特性やトレンドを敏感に捉えて変化を続けることが不可欠と考え、「どうすればもっと快適に過ごしていただけるか」を念頭に、既成概念や型にとらわれず、「変」を追求し続けます。世界初のロボットが働くホテルとしてギネス世界記録®に認定されました。

## ウォーターマークホテル



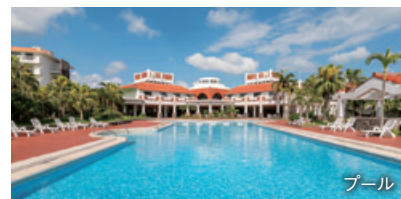
国際級ホテルとして世界中のお客様に愛されるリゾートホテル。京都、沖縄県宮古島、インドネシアバリ島に3ホテルを展開。「ウォーターマークホテル京都」は世界中のアスリートから支持されるファイテンのプレミアムな水、ファイテンウォーターを世界初導入。日本の渚100選に選ばれた佐和田の浜に立地する「ウォーターマークホテル&リゾート沖縄 宮古島」はインフィニティプールを設置。

## 満天ノ 辻のや



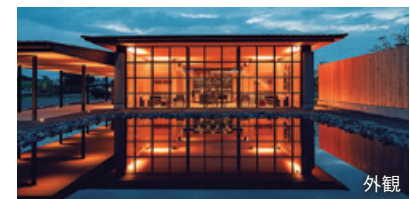
天然温泉、こだわりの辻のや会席、広大な庭園散策をお楽しみいただける、石川県粟津温泉の純和風温泉旅館。

## リゾートホテル 久米アイランド



「わたし」に還る、球美(くみ)の島時間がコンセプトの沖縄県久米島最大級のリゾート。フロント、ロビー、客室の大規模改装が終了。

## HOTEL VISON (ホテルヴィゾン) 旅籠ヴィゾン



三重県の商業施設「VISON(ヴィゾン)」内の宿泊施設。一棟独立型のヴィラ、ホテルタイプ、コンセプトルーム他をご用意。

## グアムリーフホテル



グアムの中心タモン地区に立地。ビーチフロントのリゾートホテル。日本語スタッフ常駐。

## グリーンワールドホテル



台北市内に13ホテルを展開する台湾最大級ホテルチェーン。全ホテル日本語対応。

## ホテルインスピラ-S タシケント



本格的なスパ・大型レストラン・会議室も備えた全140室の4つ星ホテル。

### HISホテルホールディングスのSDGsの取り組み

#### アメニティバーの設置

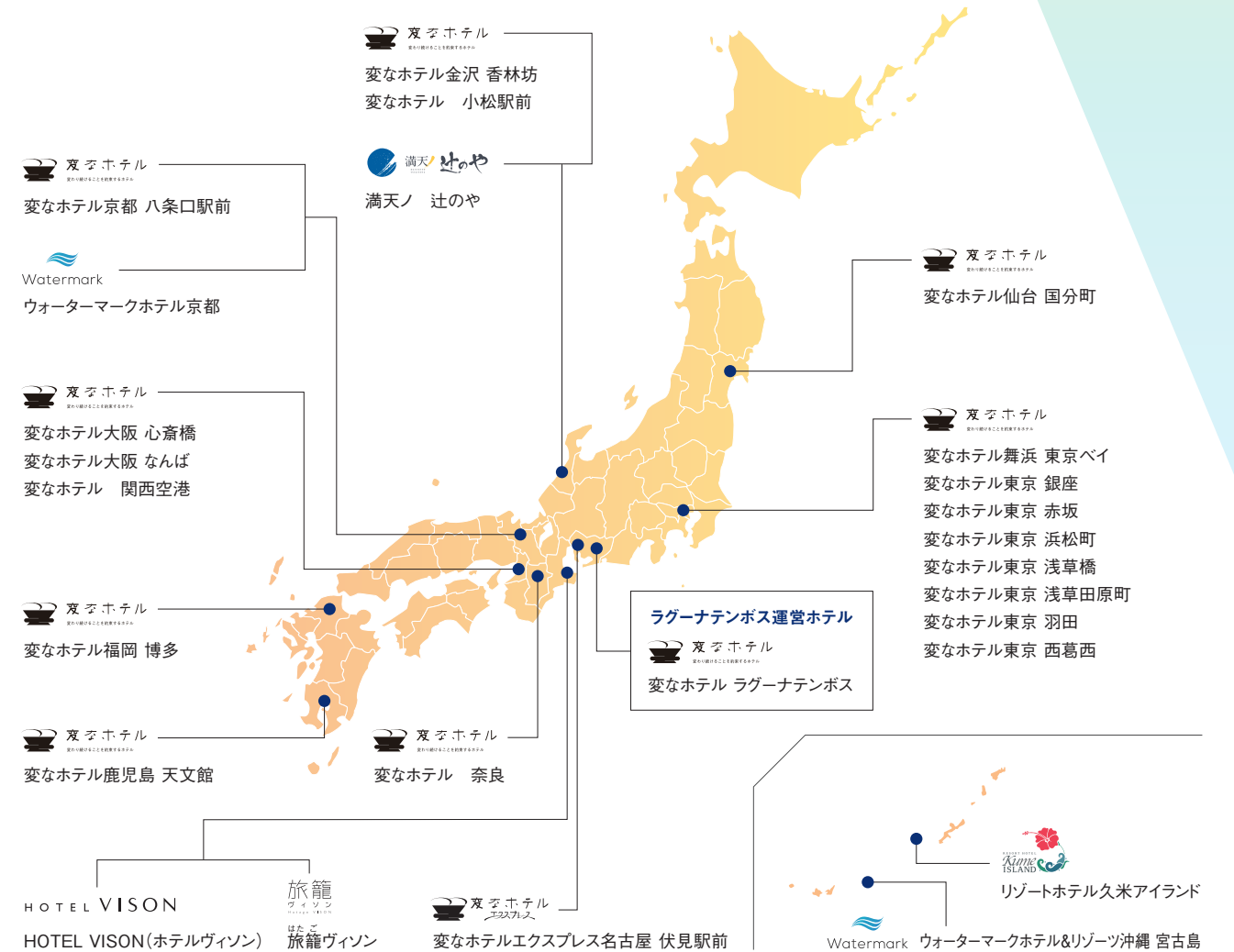
館内着や一部のアメニティ類は客室に常設せず、お客様に必要な分だけご利用いただく「アメニティバー」を設置しております。アメニティも環境負荷軽減製品を採用しております。



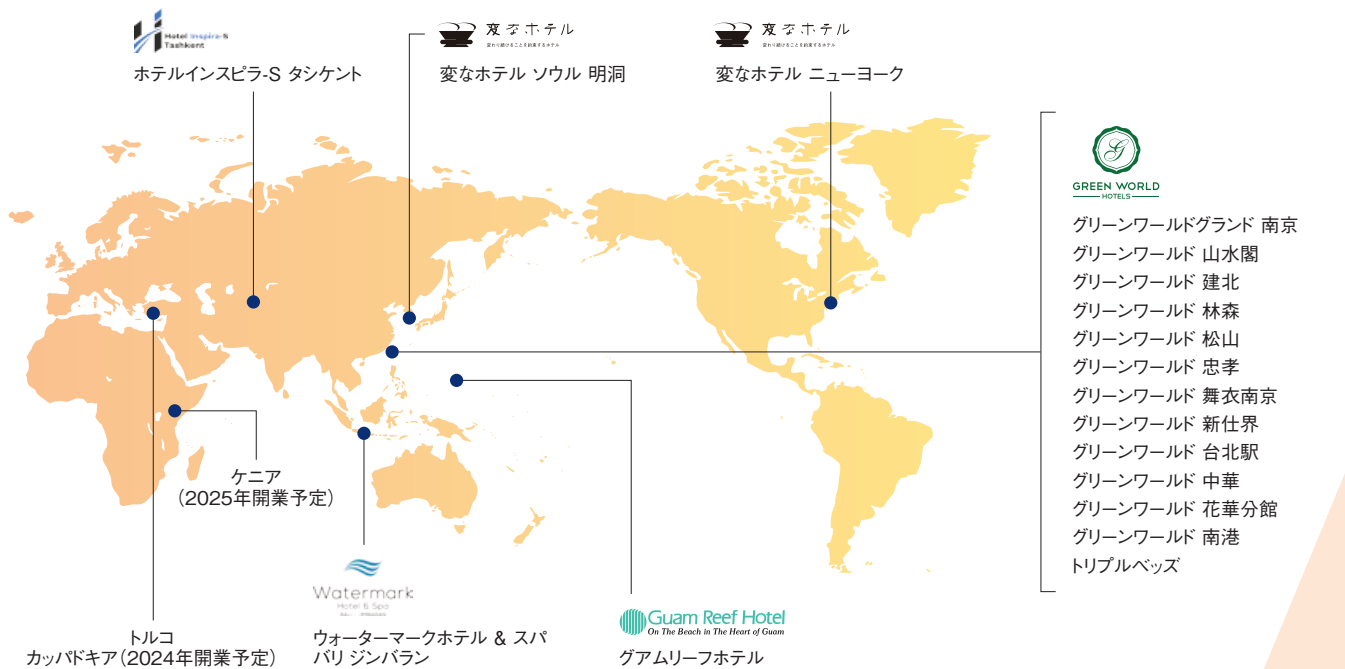
- リサイクル材を使用して作られた家具・調度品をホテル館内・客室に採用しております。
- オーガニックコットンを使用したタオルを採用しております。
- ビーチクリーン活動など自然保護活動に参画しております。



## 国内ホテルラインナップ



## 海外ホテルラインナップ





熊本に深く、九州に広く。  
熊本に貢献する企業を目指し、  
皆様のニーズと期待におこたえします。



SAKURA MACHI Kumamoto

九州産業交通ホールディングス株式会社

九州産交グループ

企業理念

顧客本位のサービスを提供することにより、地域とともに繁栄し、社会の発展に貢献する。

企業ビジョン

サービスをもって社会と顧客のニーズ・期待にこたえ、  
持続的に発展する九州のリーディングカンパニーを目指します。

九州産業交通ホールディングス株式会社

「アイドルマスター シンデレラガールズ」×熊本城復興応援プロジェクト

2023年3月1日～5月8日の期間中、熊本城復興応援プロジェクトとして、「アイドルマスター シンデレラガールズin熊本」の特別キャンペーンを実施しました。熊本県民と観光のシンボルである熊本城の現状を知っていただき、復興の一助になればとの思いから「アイドルマスター シンデレラガールズ」の熊本に縁のある3キャラクターとコラボレーションした企画です。期間中、熊本市内の商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto」内にポップアップストアを開設し、九州産交リテールの飲食・物販店舗では、様々なご当地コラボレーション商品やレストランメニューを展開しました。九州産交バスではオリジナルバスの模型販売を行い、さらに熊本～福岡間を運行する「ひのくに号」の車両をラッピングし期間限定で走行し多くのお客様を魅了しました。

また、SAKURA MACHI Kumamoto・熊本城・熊本中心市街地の3つのエリアでデジタルスタンプラリー企画を開催するなど、熊本中心市街地の活性化や街なかの回遊性を高め、熊本貢献企業としての役割を担いました。なお、本コラボレーション企画の売上の一部を熊本城復旧・復興支援として熊本城に寄付いたしました。



SAKURA MACHI Kumamoto内のポップアップストア



「ひのくに号」ラッピングバス



「お菓子の香梅」とのコラボレーション

THE IDOLM@STER™& ©Bandai Namco Entertainment Inc.

旅行情報誌「九州 おとなの旅日和」創刊

2024年2月に「楽しめる読み物」として、地元熊本を中心に九州各地の観光情報や温泉、グルメ情報、歴史や文化など九州の魅力と旅のエッセンスを随所にちりばめたフリー旅行情報誌「九州 おとなの旅日和」を創刊しました。九州産交グループが運行する高速バスや空港リムジンバスなどの車内に設置する「車内誌」として、またSAKURA MACHI Kumamotoの商業施設や営業窓口等への設置も行う、全国的に珍しい自社制作によるオリジナルの情報誌です。

九州産交グループのリソースを最大限活用し、今後ますます旅行需要の高まりにより人流が活発化する九州の観光振興事業への支援と推進に取り組んでまいります。



半額宿泊券が116名様に当たる宿泊情報も満載

九州産交バス株式会社

路線バスを活用した客貨混載による「手ぶら観光サービス」の取り組み

九州産交バスとヤマト運輸は、阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビル開業に合わせ、路線バスを活用した客貨混載で阿蘇くまもと空港から熊本市と阿蘇市の宿泊施設に当日中に観光客の手荷物を配送する「手ぶら観光サービス」を行っています。

かねてより客貨混載事業を展開している九州産交グループと、ヤマトグループの物流ネットワークを組み合わせることで「もっと手ぶらで快適に熊本の観光を楽しんでいただきたい」という思いのもと、お客様への観光支援に取り組んでいます。熊本県を訪れる国内外の観光客の皆様、より便利で快適な観光の実現をこれからも目指してまいります。



「手ぶら観光サービス」のイメージ



路線バスを活用した取り組み

九州産交ランドマーク株式会社

バスde産直「天草うまかもん市場」in サクラマチクマモト開催 ～地域産品を路線バスで熊本中心部に繋ぐ～

九州産交ランドマークは、熊本県内のほぼ全域をカバーする九州産交グループのバスネットワークを活用し、生産者、直売所（JA直売天草「天草とれたて市場」）およびスーパーマーケット（フードウェイ）と提携を行い、熊本市内の商業施設SAKURA MACHI Kumamoto地下1階スーパーマーケットで販売をする、バスde産直「天草うまかもん市場」を毎週土曜日に開催しています。産地直送の地域産品を最寄りのバス営業所（天草営業所）で集荷を行い、SAKURA MACHI Kumamotoまで配送し熊本中心部の皆様に新鮮な地域産品をお届けしています。地域産品の認知拡大・魅力再発見、そして熊本中心市街地の賑わい創出、さらに路線バスの有効活用によるCO<sub>2</sub>排出削減など社会課題解決の一助になればとの思いで取り組んでいます。今後、取り扱い商品の拡充や多方面からの展開を予定しており、熊本貢献企業として熊本県全体を盛り上げてまいります。



天草の新鮮な野菜や果物がずらりと並び

九州産交リテール株式会社

保育園とのコラボレーション体験企画 ～手作りどら焼きを通して、食への興味・関心・食文化の魅力を発信～

SAKURA MACHI Kumamoto地下1階の九州産交リテールが運営するどら焼き専門店「どらがしあんあん」は、IQキッズ「くまもと城下町保育園」とコラボレーションした「どら焼き作り体験会」を実施しました。「どらがしあんあん」は、熊本に寄り添い温もりあふれる、家族のようないつもの和菓子店をコンセプトに、熊本の食材を使用したどら焼きの販売を通して、食文化やその地域の魅力を発信しています。今回、食文化の魅力をさらに拡げていくため、「くまもと城下町保育園」を訪問させていただき、園児の皆様が自らどら焼きを作る体験を通して、食への興味・関心へ繋げることを目的として実施いたしました。九州産交リテールは、これからも熊本の食文化の魅力発信に取り組んでまいります。



「どらがしあんあん」のスタッフがサポート



どら焼きは一人3個作り1個は試食し、2個はお土産に



「くまもと城下町保育園」の園児の皆さんと



自然豊かな三河湾を望む複合型リゾート  
エンターテインメントやグルメ・ショッピングなど  
様々なスタイルで海をお楽しみいただけます。



ラグナシア エントランス

株式会社ラグーナテンボス



ラグナシア

夢いっぱいテーマパーク

アトラクション、花火、イルミネーションなど1年を通じ  
様々なエンターテインメントを提供します。



バイレーツプラスト

TVアニメ「葬送のフリーレン」  
旅の途中、ラグーナにて(～5月9日)

ミステリーラーの開催や、アニメのシーン  
を彷彿とさせるフォトスポットが登場。



©K.Y.T.A/S/FP

Wヒーロー春祭り 2024  
in ラグーナテンボス  
(4月20日～5月19日)

「爆上戦隊ブンブンジャー」と「仮面ライ  
ダーガッチャード」をはじめ  
歴代のヒー  
ロー展示や  
フォトスポット  
が登場。



©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映AG・東映

ラグーナ プール  
(6月8日～9月29日)

日本最大級のウェーブプールや全長230  
mの流れるプールなど、6種類の多彩な  
プールが楽しめます。



ソノイアマーレの浜辺

フェスティバルマーケット

リゾート気分が満喫できるショッピングモール&レストラン

新鮮な海鮮を取り扱うおさかな市場のほか、アウトレットやレストラン  
などが揃うショッピングスポットです。  
屋外エリアにはこの春「ハーバー  
パーク」が新登場。海を眺めなが  
ら過ごせる憩いの広場に生まれ  
変わります。



イメージ

おさかな市場



イメージ

シーサイドレストラン



イメージ

変なホテル ラグーナテンボス

ラグナシアに直結したホテル

客室では最新のスマートフォンシステムが快適なホテル  
ステイをサポートします。2023年8月に日本初となる室  
内自律走行ロボット「ROBOTIS」  
を導入。3Dカメラ付きロボット  
アームでボタンを押すことが可能  
になり、エレベーターを利用した層  
間移動ができるため、ルームサー  
ビスの配送で活躍しております。



ROBOTIS



フロント

旅先でもご自宅でも 快適な通信環境を

H.I.S.Mobile株式会社



旅にも生活にも、なくてはならない通信サービス・機器を提案してまいります。

格安SIM

月額290円で通話もデータ通信もで  
きる手軽さと、通話料金が業界最安  
級の30秒あたり9円を実現した、コス  
トパフォーマンスの高い格安SIM  
カードをご提供しています。NTTドコ  
モ網を利用したサービスとなり、安定  
した通信品質も高評価をいただい  
ています。

Wi-Fiレンタル

国内外の旅行や出張に便  
利なレンタルWi-Fiルーター  
を取り扱っています。業界  
最多の国・地域に対応し  
た容量無制限の海外Wi-Fi  
レンタルでは、動画視聴や  
SNSも安心してご利用いた  
できます。



イメージ



イメージ

法人向けサービス

モバイルのことから動態管理、  
防犯カメラ、車両管理、介護見  
守りロボ等のIoT、M2Mに適し  
たソリューションと通信までを一  
括してご提供します。

モバイル通信関連機器取り扱い

スマートフォン、タブレット端末、Wi-Fi  
ルーター、翻訳機、携帯端末など用途に  
合わせた通信端末をレンタル、物販とし  
て各種取り扱うほか、不要となった機器  
の買い取りサービスも承ります。



イメージ

<https://his-mobile.com/>



人材派遣

株式会社グリーンオーシャン



日本の人口減少とともに、国内の労働力不足が深刻化しています。今までHISが培ってきた  
サービス業におけるホスピタリティと、海外拠点で培ったグローバル人材への理解をもって、  
国内の人材不足の解決だけに終わらず、外国人労働者の帰国後のキャリアプランまでをサ  
ポートすることで、派遣元国の発展にも貢献し、関わる人すべてが成長・発展できる事業を  
展開してまいります。

農業分野においては、収穫や定植などが重なり最も人手が足りない時期のみお手伝いをす  
る「農繁期作業支援サービス」が他社にはない特徴です。生産者を通年雇用の束縛から解放  
し、適正な労働力配分の実現を通して、生産者の農業所得の向上の一助となる所存です。  
宿泊業分野におきましても、近い将来やって来る観光需要リバウンド期に即応できるよう、独  
自の人材教育プログラムを使い早期より対策を行ってまいります。

私たちグリーンオーシャンは、日本へやってくる外国人材が誇りをもって働ける場所を提供し、  
その活躍に相応しい待遇の確保を通じて、日本の創造的発展に寄与したいと考えています。



イメージ



イメージ



<https://greenocean.jp/>



# 新規事業のご紹介

## デジタルサービス推進事業

複数のサイトから同種の商品やサービスをまとめて比較できる「比較サイト」を企画・構築し、提供しています。情報過多の現代社会においてシンプルで分かりやすく、誰もが公平に商品やサービスを比較し、納得・安心して購入していただくためのサイトを目指しています。

20社以上の提携サイトから国内ホテルの最安値が比較できる「旅プロ」をはじめ、「ふるさと納税」や「ウォーターサーバー」など、多くのサービス・商材からユーザーニーズをくみ取り、ユーザーの「知りたい」にこたえる特集ページを多数公開。いずれのサイトもオーガニック検索からの流入が9割前後と高い水準となっております。

今後も客観的なデータをもとにした信頼できる情報を提供し、ユーザーに「お得」や「便利」をお届けできる良質なコンテンツの提供を心がけていきます。

### 旅プロ(国内ホテル)



<https://www.his-vacation.com/>

### ふるさと納税



<https://www.his-j.com/furusato/>

### ウォーターサーバー

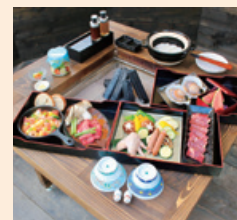


<https://www.his-j.com/waterserver/>

## グランピング事業



施設外観



夕食イメージ

「自然の中で、豊かな体験を通してみんなを笑顔にする」をビジョンに掲げ、2022年10月、石川県小松市に北陸初の愛犬と一緒に過ごすための専用グランピング施設「GLAMHIDE WITH DOG KOMATSU」を開業いたしました。

愛犬と旅行に行きたいというニーズに向き合い、「心躍る」非日常体験をお楽しみいただくことができる施設を目指しております。お客様の声を大切に、四季折々の景色や季節に合わせたお食事の提供、愛犬と一緒に楽しめるイベントの開催など、様々なことに挑戦し変化し続ける施設をつくってまいります。



<https://www.glamhide.com/wdog/komatsu/>

## 新・宿泊体験予約サイト運営事業

新しい宿泊体験を通じ、今まで経験したことのない感動価値をお届けする、宿泊予約サイト「WOW+」(ワオプラス)を2024年3月にオープンしました。

「WOW+」は、「新しい宿泊体験の旅」をコンセプトとした国内宿泊予約サイトで、グランピング施設をはじめ、貸別荘や古民家一棟貸しなどのパッケージレンタル、農業体験を楽しめる農泊施設、お寺の宿坊に滞在できる寺泊施設などHISが厳選したユニークな宿泊施設に特化したサイトとなっております。「BBQ」「田舎暮らし」「ペットと泊まれる」などの体験ワードから宿泊施設を探せる仕様になっており、掲載する施設を厳選することで、ユーザーの求める体験から魅力的な施設を心地よく検索できます。また、宿泊施設を起点に旅先を選択することで、日常では得られない体験や風景、食材など新たな地域特有の魅力に出会うこともできます。



<https://www.his-j.com/service/wowplus/>

## 飲食事業

「食」と「旅」の相性を活かし、日本の食文化の活性化と保全を目指して、蕎麦屋、ホテルの朝食、海鮮バイキングレストランを運営しています。多くの日本の皆様に本格的な日本の食文化を知っていただくため、厳選した地域で出店しています。

2024年2月1日には、「日本の台所」と称される豊洲市場に隣接する新たな商業施設「豊洲 千客万来」に「海鮮バイキング いろは」を開店しました。

日本国内の旅行者だけでなく、海外からのお客様にもご来店いただけるよう、HIS訪日旅行営業本部と連携し、訪日観光客強化にも取り組んでいます。将来的には日本の食文化を世界各国に発信し、海外出店も視野に入れています。

### 現在運営中の店舗

- 「満天ノ 秀そば」(東京・四ツ谷店、東京・府中店)
- 「ジュランックダイナー」(変なホテル舞浜 東京ベイ内)
- 「海鮮バイキング いろは」(東京・豊洲店)



「海鮮バイキング いろは」店舗入口イメージ



「海鮮バイキング いろは」食事イメージ

### 海鮮バイキング いろは

<https://restaurant-iroha.com/>



### 満天ノ 秀そば

<https://www.his.co.jp/project/food/hidesoba/>



## 欧州 日本食材店「JAPAN PREMIUM FOOD & TRAVEL」

欧州では、日本の魅力を発信するアンテナショップ「JAPAN PREMIUM FOOD & TRAVEL」を運営しています。厳選したお酒・お茶・食材を用意し「本物の日本の食と文化」を欧州の方々に提供すると同時に、イベントスペースを設けて日本の観光地の紹介や、試飲会等のイベントを行っています。日本の「食」と「旅」をつなぐ場所として、地元の人に愛されるお店を目指します。

現在は、ベルリン、フランクフルト、ミュンヘン、ロンドン、マドリッド、ローマに店舗を構えており、近くパリもオープン予定です。



ベルリン店内



ロンドン店内地下

## バンコク「Hannari Café de Kyoto」トンロー店

「食」・「モノ」を通じて京都の魅力と文化を発信する専門店「Hannari Café de Kyoto」をバンコクで運営しています。京都らしいメニューと内装、京都産の抹茶を使用したドリンクとスイーツで、多くの方々に京都の魅力をお届けします。また、店舗の1階では、京都府と連携し、加工食品と雑貨を中心とした京都産品を輸入・販売。期間限定で日本の人気アニメとコラボするなど、日本の文化も紹介しています。



外観



イメージ



# HISグループのサステナビリティ

## サステナビリティの考え方

HISグループは「心躍る」を解き放つというパーパスを掲げ、グローバルに事業を展開しています。—未知との出会い、人との繋がり、豊かな時間、ワクワク、高揚感、そして平和への想い—世界中の人々がこの「心躍る」ことができる前提には、国籍、人種、文化、宗教などを越え、多様性を尊重し合い、世界の人々が安心して暮らせる社会と、人類を含めた動植物が生きる基盤となる健全な地球環境が必要だと考えています。共存・共生・共栄を意識し、社会問題や環境問題にHISグループの事業を通じて真摯に向き合うことで、次世代の未来に繋いでまいります。

## トップメッセージ

HIS Group Purposeである「心躍る」を解き放つは、持続可能で平和な社会と、健全な地球環境を保全し続けることで成り立つと考えています。

私たちの祖業である旅行業は平和産業です。その平和を維持していくためには、世界各国・地域の人々の中で相互理解を深めていくことが重要であり、「旅」を通じてその機会を創出していくことが私たちの存在意義であると考えています。また同時に、事業活動の中に地球環境の保全に繋がる活動を取り入れ、それらを実践していくことで、サステナブルな未来をつくっていきたくと考えています。

私たちの事業領域は、旅行業やその関連事業、そしてもっと新しい領域にまで、挑戦を繰り返しながら広がっています。

創業50周年を迎える2030年に向け、HISグループとしてどのような企業でありたいかを示す想いを「Vision 2030」として掲げました。あわせて、この姿に向かって進んでいく第1歩目として、7つのマテリアリティ(重要課題)を定めました。これらのマテリアリティに誠実に向き合いながらSDGsへの貢献を進めるとともに、PDCAサイクルの実践で事業を成長させ「Vision 2030」の実現を目指してまいります。



この実現のために重要だと考えているのが「多様な人財の活躍」です。HISグループでは、DEIB推進や働き方・風土改革を通じて、国籍・人種・文化・宗教などを越え、多様性を尊重し合い、一人ひとりが活躍できる企業として変革・挑戦を続けてまいります。今後もHIS Group Purpose「心躍る」を解き放つを胸に、その実現を目指していくことが、企業価値を向上させ、サステナビリティ経営に資するものと考えております。

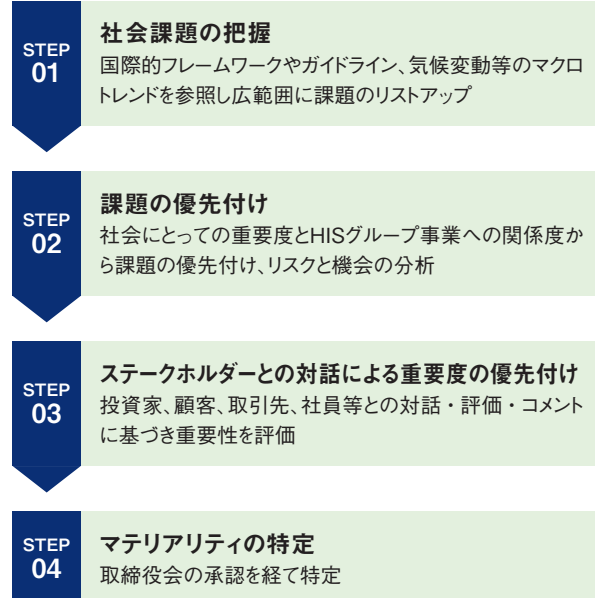
株式会社エイチ・アイ・エス  
代表取締役社長(CEO)  
矢田 素史

## HISグループのマテリアリティ

HISグループでは、「心躍る」を解き放つをパーパスに掲げ、「HIS Group Value」と「HISの強み」を掛け合わせ、社会課題・環境問題にHISグループらしく挑戦することで、社会とともに持続的に成長し続けられる企業でありたいと考えています。そのために、HISグループとして取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定し、事業戦略に組み込むことで、その解決に取り組んでまいります。

### 策定ステップ

マテリアリティは以下のプロセスで特定いたしました。社会課題を網羅的に把握することからスタートし、リスク・コンプライアンス委員会にて、各部門やグループ会社の責任者による短期・中期的および長期的な事業計画に基づいたリスクの洗い出しを実施しました。次に、サステナビリティ推進委員会にて、外部環境分析を行ったうえで社会における重要性和HISグループの事業への関係性について協議しました。そして、ステークホルダーとの対話に基づいた重要度を踏まえて重要課題の優先付けを行い、取締役会の承認を経てマテリアリティを特定いたしました。



### 参照したフレームワーク、ガイドラインなど

- UNWTO世界観光倫理憲章
- 持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)
- OECD多国籍企業行動指針
- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosures)
- パリ協定
- 欧州サーキュラーエコノミー
- 国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- 各種ESG調査での要請事項

## マテリアリティ

マテリアリティ	関連リスク・機会	主な目標・KPI	貢献するSDGs目標
ビジネスモデルの変革	a. 経済・社会情勢の変化 b. 市場の変化 c. 技術革新への対応	・グローバルマーケットの拡大・強化 ・新規デスティネーション開発 ・業務効率化・コスト構造改革 ・新規事業の推進 KPI (連結)FY2026 売上 4,300億円	8 持続可能な消費 9 産業とインフラ
サービスオリシティの向上	a. 経済・社会情勢の変化 b. 市場の変化 c. 技術革新への対応	・DX推進による顧客体験価値の向上 ・販売チャネルのシームレス化(OMO推進) ・高付加価値商品の拡充	4 質の高い雇用と労働環境 8 持続可能な産業とインフラ 10 公平な社会と豊かさ 11 持続可能な都市とコミュニティ
多様な人財の活躍	b. 市場の変化 f. 人財の育成・確保	・DEIB推進 ・経営リーダー育成 ・働き方・風土改革 KPI FY2026 働きがい指数80%、(単体)FY2026 女性役員・管理職比率20%	4 質の高い雇用と労働環境 5 性別平等 8 持続可能な産業とインフラ 10 公平な社会と豊かさ
お客様への安心・安全の提供	d. 提供するサービスの安全管理・品質管理 e. システム・設備の障害などによるサービスの中断・品質低下	・各種安全ガイドラインやマニュアルの整備・更新 ・システムセキュリティ対策 KPI (単体)eラーニング研修受講率(個人情報100%/セキュリティ100%)	3 健全な生活 12 持続可能な消費
地域社会との共生	a. 経済・社会情勢の変化 g. 気候変動・環境規制	・誰もが世界と繋がるサービスの提供(ユニバーサルツーリズム、オンライントラベル) ・地域社会との共創(自治体、NGO・NPOとの連携)	4 質の高い雇用と労働環境 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費 17 持続可能なパートナーシップ
地球環境の保全	g. 気候変動・環境規制	・事業における環境負荷軽減の取り組み ・省エネ・省資源化の促進 KPI (単体)FY2026プラスチック削減70%、紙資源削減70%(FY2019比)	12 持続可能な消費 13 気候変動 15 陸の豊かさ
ガバナンス強化	h. ガバナンス	・取締役会の実効性強化 ・リスク・コンプライアンス、サステナビリティへの対応強化 KPI (単体)FY2024 コンプライアンス研修年間6回実施、受講率100%	13 気候変動 16 平和と公正



## 環境 (Environment)

HISグループが事業を持続させていくには、人類を含めた動植物が生きる基盤となる健全な地球環境が必要だと考えています。そのために、事業活動における環境負荷軽減や省資源化に取り組んでいます。そして、多くの方に豊かな地球環境に触れ学ぶ機会の提供を行うことは、観光産業を祖業とする私たちが持続可能な地球のためにできる、私たちの使命だと捉えています。

### 事業における環境負荷軽減の取り組み

#### ○ 移動における排気ガス削減

##### トローリー、バス運行によるレンタカー利用削減

沖縄、ハワイ等人気観光地でトローリーバス、シャトルバスを運行することで、お客様の旅先の移動の利便性を高めるとともに、レンタカー利用による排気ガス増加を抑制しています。



LeaLea Okinawa  
シャトルバス

##### EV車導入による排気ガス削減

沖縄県の久米島・宮古島のホテルや、タイのバンコク市内の観光においてEVトゥクトゥクを導入し、移動による排気ガス排出削減を推進しています。タイでは、空港送迎用車両やバンコク以外の都市の観光にもEV車導入を目指しています。



沖縄・EVトゥクトゥクEmobi タイ・EVトゥクトゥク

##### 公共交通機関の利用促進による環境対策

九州産交グループは、熊本県内バス事業者ならびに熊本市交通局と共同で、「熊本県内バス・電車こども無料(大人100円)の日」を2019年以降毎年定期的に開催しています。これは、公共交通機関の利用促進ならびに利便性向上を促すとともに、自家用車利用による交通渋滞の緩和や、排気ガス増加の抑制など環境対策に繋げることを目的としています。2023年3月に実施した「熊本県内バス・電車こども無料の日」(主催:熊本市)の環境効果は、1日で推計約67tのCO<sub>2</sub>の削減(スギの木のCO<sub>2</sub>吸収量で換算すると約7,940本の吸収量)の環境効果がありました。これからも公共交通機関の有用性を高め、市民の皆様はその利便性を再認識していただくことで、地域の活性化ならびに環境への取り組みに繋がってまいります。



「熊本県内バス・電車こども無料(大人100円)の日」の熊本駅前の様子

#### ○ 環境やサステナビリティについて学ぶ旅の提案

##### マラマハワイ ～ハワイから地球にやさしい旅～

世界中から多くの観光客が訪れるハワイは、絶滅危惧種の自然や生物が多く生息し、同時にその土地や歴史ある文化を大切にしている地域社会があります。観光が主要産業であるハワイは、世界でもレスポンシブル・ツーリズム(責任ある観光)に積極的に取り組んでおり、ハワイ語で「思いやりの心」を意味する「マラマハワイ」のスローガンのもと、訪れる人もハワイの自然環境、伝統・文化を守っていくことの重要性を発信しています。HISはその考えに賛同し、2022年9月にハワイ州観光局と、レスポンシブル・ツーリズム「マラマハワイ」の推進に向けたパートナーシップ協力覚書(MOU)を締結し、持続可能な再生型観光を推進しています。この活動においてHISでは社員向けに教育プログラムを実施したり、特設サイトやSNSを通してお客様への情報発信や、ハワイの歴史や文化、大自然を感じられる「新しいハワイの旅」を提案しています。



アラワイ運河の水質改善プロジェクト

##### エコツーリズム

地域それぞれが持つ大自然、歴史、文化などを体験し学び、地域の方々と交流することで訪れる土地を感じる『五感にチャージする旅』をコンセプトに、専門デスクを設け、トレッキング、環境保護、地域交流等の体験型ツアーを提供しています。ツアーで排出するCO<sub>2</sub>をオフセットできるカーボンオフセットプランもご用意しています。



屋久島トレッキング

##### サステナビリティを考える団体旅行

企業や団体、教育機関向けに、サステナビリティを考える団体旅行を提案しています。サステナブルな取り組みを推進している航空会社、ホテル、訪問先を組み込んだ旅行プランに加えて、旅行前のSDGsに関する学びの機会や、旅行中にSDGsを学ぶ体験プログラム等も提供しています。

## 持続可能な未来へ向けての取り組み

#### 持続可能な旅の未来をつくるSAF分野への出資

HISは、ユナイテッド航空が設立した持続可能な航空燃料(SAF)の研究と開発に焦点をあてた「ユナイテッド・エアラインズ・ベンチャーズ・サステナブル・フライト・ファンド(UNITED AIRLINES VENTURES SUSTAINABLE FLIGHT FUND)」に対し出資しています。HISではユナイテッド航空指定のサステナブルなツアーを販売するなど、今後も持続可能な旅行商品を提供してまいります。

→ 詳細はP.20



イメージ

#### 地球に優しい成層圏宇宙旅行を販売

HISは、2023年9月にSpace Perspective社に出資し、成層圏宇宙旅行を取り扱っています。「Space Balloon™」技術によって飛ぶ「Neptune」は、世界で初めてカーボンニュートラルな方法で宇宙に行くことができる気球型宇宙船で、成層圏までの飛行のため無重力にはならず、成人であればどなたでもご参加いただけます。日本国内での公式代理店はクオリタが請け負っております。



写真提供:Space Perspective

## 事業活動における省資源化の促進

#### ホテル事業におけるプラスチック消費の削減

HISホテルホールディングスでは、ホテル内にアメニティバーを導入し、事業活動におけるプラスチック消費の削減を推進しています。また、「野に遊び、野に学べ」をコンセプトにした「HOTEL VISON(ホテルヴィゾン)」「旅籠ヴィゾン」では、天然の蘘を配合した原料を使用することでプラスチックの使用量を従来より約40%削減した環境負荷低減アメニティを採用しています。さらに、掛布団・枕にドイツADVANSA社製の海洋プラスチックから作られた中綿を使用。原材料にはPlastic Bank(海洋プラスチックと貧困層の雇用創出に取り組む団体)のPETフレークが使われています。



環境負荷低減アメニティイメージ

#### 旅行事業におけるプラスチック製品消費の削減

HISではツアー参加の旅行者にお渡ししていたビニール製バッグの廃止や、宅配用ビニール袋の紙袋への変更を行うことで、プラスチック製品利用の削減を推進し、FY2023はFY2019比で約78.5%の5.5t削減しました。\*



宅配用の紙袋

#### 路線バスの座席シート生地を活用した「アップサイクル」

九州産交グループでは、路線バスで利用されていた座席シート生地を活用した「アップサイクル<sup>※2</sup>」製品の販売を2022年11月から行っています。路線バスの座席シートは生地も柄も数種類あり、デザインやアイデアによって新たな製品に生まれ変わること、廃棄物の削減に繋がるとともに、お客様にとっても思い出深い特別感のある製品として好評をいただいています。



座席シート アップサイクル製品のトートバッグ

#### 旅行事業における紙類の削減

HISでは、森を守るFSC<sup>®</sup>認証<sup>※3</sup>のコピー用紙を利用し、社内の各種申請や書類の電子化、会議でのペーパーレス化を推進しています。各部署のコピー用紙使用量を把握できる体制を整え、ペーパーレスへの意識醸成を図っています。FY2023のHISにおけるコピー用紙の使用量は約66.7tで、コロナ禍前のFY2019比で約79.5%の削減を実現しました\*。

旅行パンフレットにおいては、Web上で閲覧ができるデジタルパンフレットを整備し、お客様の利便性を高めるとともに、余剰在庫を減らすための最適化を進めることで、FY2023はFY2019比で約75%の削減を実現しました\*。またお客様へのお渡し書面も電子化を進め、2023年11月からはパッケージツアーの旅行日程表の電子化を行っています(ご要望に応じて書面でのお渡しも行っています)。今後も、お客様の利便性向上とともに、自然環境への負荷を軽減するためにペーパーレス化を進めてまいります。

\*1 FY2023は新型コロナウイルス感染症の拡大が事業活動に影響を与えていることから参考値となります。

\*2 アップサイクルとは、本来廃棄されるはずのものに新たな価値を与えて再生することで創造的再利用とも呼ばれています。

\*3 森を守るFSC<sup>®</sup>認証: 森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民、労働者の権利を守りながら適切に生産された製品を消費者に届けるための認証。



## 気候変動への取り組み

### TCFDフレームワークに沿った開示

HISグループは「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明し、TCFDコンソーシアムに参画し、気候変動に関するリスクおよび機会がHISの事業活動に与える影響について把握を行い、①ガバナンス、②戦略、③リスク管理、④指標と目標ごとに気候変動に対する考え方を整理しています。

今後もTCFD提言に沿った情報開示を継続的に進め、その充実を図ってまいります。

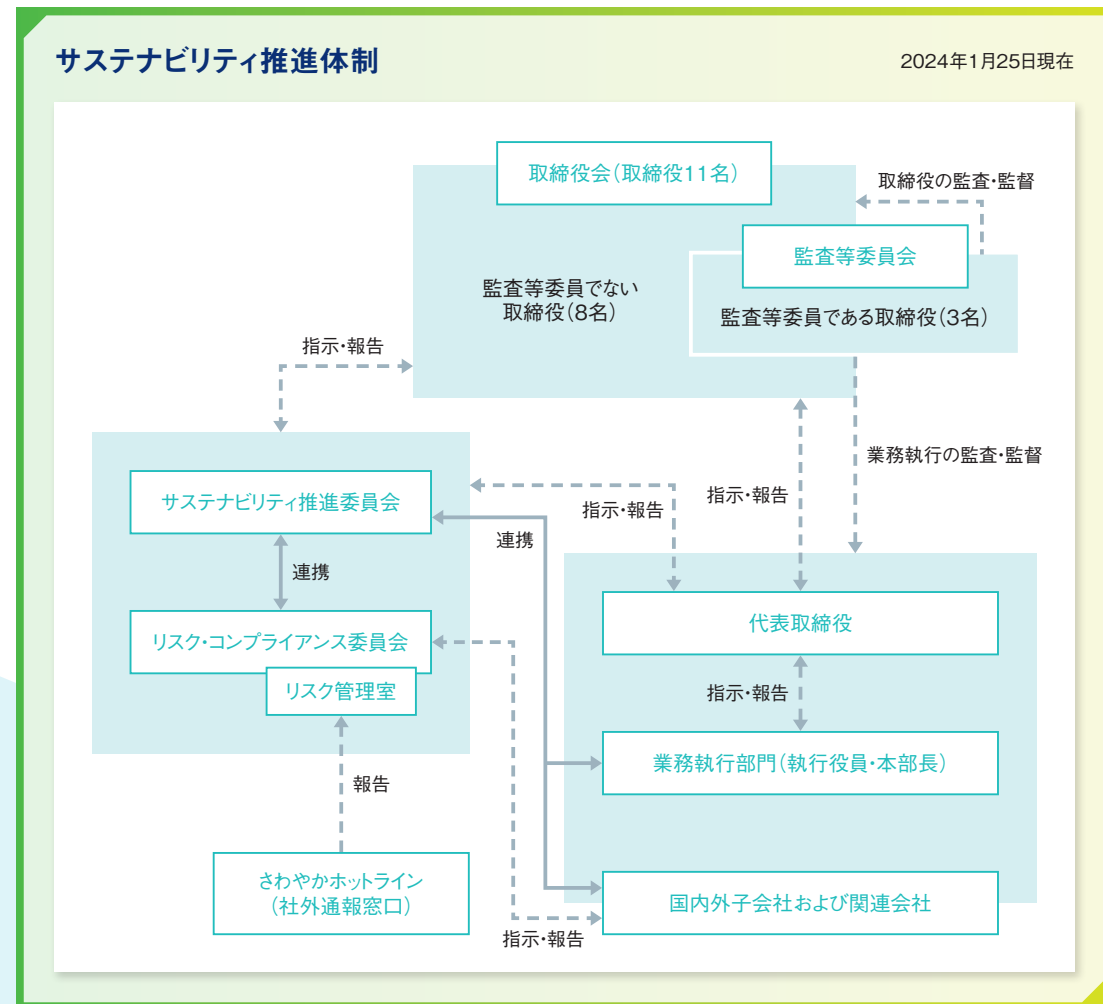


### 1 ガバナンス

HISグループは、HIS Group Philosophyに基づき、ステークホルダーの皆様から信頼され、選ばれ続ける企業を目指しています。

代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会のリーダーシップのもと、リスク・コンプライアンス委員会、業務執行部門、国内外子会社および関連会社と連携し、重要方針や施策について議論をするとともに、目標に対する進捗のモニタリング等を行い、サステナビリティへの取り組みを推進しています。同委員会における重要な事項については、取締役会に付議し、審議・決定を行います。

また、従業員一人ひとりが行動憲章に則り、ステークホルダーの皆様の権利・立場や健全な事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の醸成に取り組んでいます。



### 2 戦略

HISグループでは、気候変動シナリオ分析を実施し、事業に関連する気候変動リスク・機会とその影響の大きさおよびその対応策をまとめました。リスク重要度が高く長期におよぶ項目においては、重点的に対応を推進してまいります。

2023年12月1日現在

リスクの種類	リスク・機会の項目	リスク重要度	期間	対応策となる取り組み
物理的リスク	・台風、豪雨、熱波等の頻度の増加、被害の甚大化	大	短期～長期	・危機管理マニュアルに基づくお客様対応 ・旅マエのサポートサービスの充実化(キャンセルサポート) ・グローバルネットワークを活用した安心・安全の提供(DX推進) ・保有施設・車両における防災マニュアル、防災訓練の徹底 ・備蓄品や避難体制の整備
	・自然災害によるデータセンター(DC)被害に伴うサービス提供の停止・遅延	中	短期～中期	・DC構成の見直し ・サーバーのクラウド移行 ・重要データの冗長化
移行リスク	・GHG(温室効果ガス)排出に関する規制強化における、車両等の運行制限、課税率上昇による事業運営費用の増加	小	中期～長期	・保有バス・車両におけるEV化、FCV化等の推進 ・環境に配慮された移動手段への投資や導入 ・サプライヤーのGHG排出量把握およびサステナビリティ調達の検討
	・カーボンライジングの導入による事業運営費用の増加	小	長期	・省エネ化、再生可能エネルギーの導入 ・保有バス・車両におけるEV化、FCV化等の推進 ・プラスチック製品の削減や、ペーパーレス化の促進
	・燃料の高騰に伴うサービス価格上昇による消費者心理の冷え込み	中	短期～長期	・マイクロツーリズムの推進 ・旅行の需要喚起 ・新たな体験価値の提供
	・気候変動への関心の高まりによる顧客行動・嗜好の変化	大	短期～長期	・プラスチック製品の削減や、ペーパーレス化の促進 ・環境保護体験プログラムの提供 ・保有バス・車両におけるEV化、FCV化等の推進 ・カーボンニュートラル商品の提供 ・新たな体験価値の提供 ・環境に配慮された移動手段の導入 ・積極的な情報開示
	・気温や海面の上昇等の環境変化や、それに伴う新たな規制・法律・条例の制定に起因するサービスの減少	中	中期～長期	・新たな商品開発・デスティネーション開発 ・自然環境保護を目的とした商品開発(観光局や自治体と連携) ・旅行業以外の事業の拡大
	・気候変動への取り組みが不十分と評価された時の企業価値の低下、投資先や取引先の減少	中	短期～長期	・積極的な情報開示 ・再生可能エネルギーへの投資

短期(～FY2024)、中期(FY2025～FY2026)、長期(FY2027～FY2030)

### 3 リスク管理

HISグループでは、気候関連リスクにおいてサステナビリティ推進委員会とリスク・コンプライアンス委員会が連携して、リスクの識別・評価・管理を行っています。リスク管理室にて気候変動に伴うリスクも含めたHISグループ全体の事業リスクに関する情報を収集し、リスク・コンプライアンス委員会へ共有し、委員会では発生しうるリスクの洗い出し・分析・評価・対応に係る管理体制の整備や、リスクの顕在化を未然に防止するために活動をしています。そしてサステナビリティ推進委員会において気候変動に伴うリスクを抽出しTCFD提言のフレームワークに沿って分析し、環境における重要方針や施策について議論をするとともに、目標に対する進捗のモニタリング等を行い、適宜取締役会への報告を行っています。

### 4 指標と目標

HISグループでは、マテリアリティの一つに「地球環境の保全」を掲げ、気候変動においても取り組みを進めています。FY2023においては国内主要グループ\*のScope1,2のCO<sub>2</sub>排出量を把握しCO<sub>2</sub>目標の検討および削減の取り組みを実施しています。またScope3についても把握へ向けて検討するとともに、削減の取り組みを推進しています。

HISでプラスチック使用量70%削減(FY2019比)、コピー用紙使用量50%削減(FY2019比)をFY2026までに達成することを目標に、削減への取り組みを推進しております。

進捗状況は、「事業活動における省資源化の促進(P.38)」をご覧ください。

\*HIS、HISホテルホールディングス、九州産交グループ

CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1+Scope2) 単位: t-CO<sub>2</sub>

	FY2023
HIS	3,292.9
HISホテルホールディングス	4,205.8
九州産交グループ	28,370.8

※上記は概算での数値となります。(MS&ADインターリスク総研 CO<sub>2</sub>排出量簡易算出サービス利用)  
※九州産交グループのScope1に関しては、省エネ法定期報告書の集計方法に則り算出しております。

HISサステナビリティサイト 環境

<https://www.his.co.jp/sustainability/environment/>





# 社会 (Social)

HISグループは、マテリアリティに「多様な人財の活躍」「お客様への安心・安全の提供」「地域社会との共生」を掲げ、国籍、人種、文化、宗教などを越え、すべての人々の人権および多様性を尊重し合い、世界の人々が安心して暮らせる社会を目指しています。多様な人財が活躍することで、多様な社会課題への気づきが生まれ、その解決のための事業が生まれます。共存・共生・共栄を大切に、事業を通じてより良い社会づくりに取り組んでまいります。

## 人財

### 人的資本経営に関する基本的な考え方

HISグループでは、人財がHISの価値創造の源泉であると考え、社員一人ひとりが働きがいを感じ、心躍る仕事ができる基盤づくりを進めています。

HISグループの歴史は、旅行ビジネスの常識への挑戦からスタートしました。

HISの創業は1980年。当時の海外旅行者数は年間390万人程で、市場規模は2019年の5分の1程度でした。

当時は高額で団体旅行が中心だった海外旅行市場において、格安航空券を利用したFIT (Foreign Independent Tour) を取り扱う旅行会社の先駆けとなり、個人旅行・自由旅行という新しいマーケットの開拓への挑戦となりました。

そして創業50年目にあたる2030年に目指す姿 (Vision2030) として創業の原点である「挑戦心」をメッセージの冒頭に掲げ、

「挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change&Create」を策定しました。

「挑戦」はHISグループの歴史であり、社員一人ひとりが心躍る挑戦ができるよう支援をすることによりHISグループの変革そして持続的成長を目指しています。

### 多様な人財の活躍 (DEIB推進)

社員一人ひとりがお互いを尊重し合い、自分らしく挑戦し、成長し続けること、そして多様性を力に変えていくことを目指しDEIB (Diversity, Equity, Inclusion, Belonging) を推進しています。

#### 女性活躍の推進

女性比率が高いHISグループにおいては、女性の活躍は重要テーマの一つと位置付けています。

2019年には専任組織として「D&I推進室」を設置し、2023年にはさらに範囲を広げ、「DEIB推進室」に改編しDEIB推進に取り組んでいます。

経営に参画する女性社員を増やすために、女性管理職・役員比率をFY2026 20%、FY2030 30%にするという目標を掲げ、代表取締役社長をリーダーとした、全国規模でのプロジェクトを立ち上げ、様々な取り組みを推進しています。またジェンダーに関わらず、仕事と育児を両立できる働きやすい会社を目指し、男性育児休業取得率FY2026 80%、FY2030 100%の目標を設定しています。

#### HIS 実績および目標

	FY2023実績	FY2026目標	FY2030目標
女性管理職比率	14.0%	20.0%	30.0%
女性役員比率	15.4%	20.0%	30.0%
男性育児休業取得率	65.6%	80.0%	100.0%

#### 外部からの認定



女性の活躍推進企業認定  
えるぼし(3段階目)(厚生労働省)  
HIS、ミキ・ツーリスト



子育てサポート企業認定  
くるみん(厚生労働省)  
HIS



子育て支援優良企業認定証  
(熊本市)  
九州産交グループ

### Pick Up 全国DEIB推進プロジェクト

全国に拠点があるHISにおいては、同じ日本国内といえど、地区によって課題が異なってきます。そこで「全国DEIB推進プロジェクト」では、代表取締役社長をリーダーとし会社としてコミットをしながら、地区ごとに小分科会を設け、ボトムアップでの推進を実施しています。また、DEIBの理解・浸透に向けたスタッフとの勉強会や育児休業から復職するスタッフ向けの座談会など草の根活動も積極的に実施しています。



中四国事業部の座談会の様子

### Pick Up 熊本市子育て支援優良企業認定

九州産交グループは、熊本市より子育て支援優良企業として認定されております。育児短時間をはじめ小学校卒業まで取得できる子育て支援制度や、ワークライフバランス支援センターの相談窓口の設置、独自の特別有給休暇制度など、子育てと仕事の両立ができる職場環境を整備しています。働く従業員だけでなく今後就職を考える方や地域の方にも、企業の取り組みを知っていただき熊本貢献企業として地域貢献に繋げていきたいと考えております。



九州産交オートサービス

### Pick Up えるぼし3段階目認定の取り組み

ミキ・ツーリストでは育児・介護休業法改正時に、自分事として捉えてもらえるよう対象者を限定せず、全スタッフを対象にした説明会を実施し、その場に参加できなかったスタッフ向けにアーカイブ配信も実施いたしました。また、産休・育休前後のスタッフ本人や上司が安心して相談してもらえる窓口を設けております。



復職面談の様子

### 様々な国籍の人財の活躍

HISグループでは事業のグローバル化に伴い、様々な国籍のスタッフが国内外で活躍しています。グローバルな事業展開を支える海外拠点における人財の活躍も重要テーマの一つです。

FY2026には海外関係会社のNon-Japanese Manager比率65%を目標に掲げ、人財の育成・登用を進めてまいります。

### Pick Up 全世界でマネジャー向け評価者研修を開催

HISでは、2023年5月に新人事制度を導入し、評価制度についても刷新をしました。これに伴い、マネジャーに向けた評価者研修を導入し、日本国内だけでなく、HIS海外法人マネジャー向けにも実施しております。

2024年1~2月にイスタンブール・ハワイ・バンコクにて全世界のHIS海外法人マネジャーが集結し、人事評価や人財育成への考えを深める機会を設けました。



イスタンブールでの海外マネジャー研修

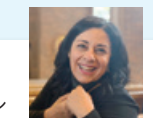
### Pick Up Great Place To Work®の「働きがいのある会社」に認定

カナダのRed Label Vacationsは、2023年12月にグローバルで信頼されるGreat Place To Work®による調査規準によって「働きがいのある会社」に認定されました。さらに2024年3月には、「Best Workplaces™ Managed by Women2024 (女性マネジャーによる最良の会社)」にも認定されました。



#### Red Label Vacations CEO Nathalie Tanious/CHRO Diana Valler

すべての社員に対する教育体系を構築して継続していることや、キャリア開発の機会提供、メディカル・メンタルヘルスの福利厚生の拡充、チームビルディングイベントやホリデイパーティーの開催など、社員のモチベーションに繋がるための様々な事柄に取り組んできました。そして、何よりも社員間のコミュニケーションをとることを大切にしています。この受賞を皆で喜ぶとともに、受賞で終わりではなく、さらに進化し共通の目標に向かって力を合わせて、今後も取り組んでいきたいと思っています。



Nathalie Tanious  
CEO



Diana Valler  
CHRO



働きやすい職場づくり

社内環境整備方針

HISグループでは、行動憲章に「快適で安全な職場環境の確保」を定めています。社員が明るく元気に生き生きと挑戦し続けられるように、身体的安全性はもちろん、心理的安全性が確保された職場づくりを推進し、ワークエンゲージメントの向上を目指します。

健康経営の推進

社員の健康保持・増進のため、様々な指標を活用し、労働環境改善を図り、健康保険組合や産業医と連携して「健康経営」を推進しています。

- ・有給休暇取得の促進
- ・健康診断 二次健診受診率の向上
- ・ストレスチェック受診率の向上

HIS 実績および目標

	FY2023実績	FY2026目標
有給休暇平均取得率	68.4%	75.0%
健康診断 二次健診受診率	45.0%	70.0%
ストレスチェック受診率	60.5%	70.0%

多様な働き方の推進

ライフスタイルの多様性に対応して、副業制度、在宅勤務制度、再雇用制度や、フレックスタイム勤務、育児期間中の短時間勤務等を設け、多様な働き方を支援しています。

今後も多種多様な仕事やライフスタイルに応じた働き方の最適化を目指し、短時間勤務、短日数勤務、リモートワーク等、様々な制度のさらなる拡充を検討していきます。

Pick Up シニア社員の短時間・短日数勤務制度導入

HISでは、2024年5月に定年後再雇用制度を改定し、嘱託社員の短時間・短日数勤務を導入します。人生100年時代といわれる中、60歳以降の働き方の選択肢を増やし、一人ひとりに自分の人生プランに即した働き方を選択してもらうことで、定年後のライフキャリアの充実を支援していきます。またその支援の一環として、資産形成への理解を深めるマネープランセミナーも実施しました。



マネープランセミナーの様子

人財の育成

人財育成方針

Vision2030「挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change&Create」に則り、一人ひとりが大きな夢・目標を持ち、従来の考え方にとらわれず、自由な発想で考え、失敗を恐れずに、新しいことに挑戦する人財の育成に取り組んでまいります。

自律したキャリア形成と多様な成長機会の創出

HISでは、毎年1回キャリアプランを自己申告する「キャリアビジョン制度」と連動し、2024年からは新たに「キャリアビジョン研修」を実施しています。

また申告だけでなく、希望する部署・仕事に自ら手を挙げるができる公募制度もっており、スタッフ一人ひとりが自律的にキャリアを構築できる仕組みづくりを進めています。

Pick Up キャリアビジョン研修

HISでは社員一人ひとりが、これまでの歩みを振り返り、自身の強みや持ち味を再認識し、未来に向けての想い、夢や目標をイメージしていく研修を開催しています。研修の後半では、未来年表を作成し、自身が踏み出すこれからの一步を描き、仲間との対話から、自身の中にある想いをさらに探求していきます。子育て世代の社員に向けては、育児と仕事の両立をしながらも、自身の夢や目標を手放さずに歩むためにはどうしたらいいのか、日々の生活で感じることを率直に語り合い、未来への一步を考える機会となっています。



キャリアビジョン研修の様子

Pick Up 20%プロジェクト公募

20%プロジェクト公募とは、現在の仕事はそのまま継続しながら、勤務時間の20%(週1回)を限度に、自分の本業とは違う「やってみたい」仕事にもチャレンジする公募制度です。様々な部署が設定したテーマに対し、興味のあるスタッフが手を挙げ参画し、プロジェクト単位で協働していきます。多様なバックグラウンドをもつメンバーが協働することにより、自分の挑戦してみたい仕事に関わること、様々な意見を取り入れることでの新たな気づきを通じた成長機会を創出してまいります。



変革期を主導するリーダー人財の育成

HISグループにおける変革そして持続的成長のためには次世代をリードする人財の輩出は必須と考え、計画的なリーダー育成を実施します。

Pick Up 次世代リーダーの育成「HIS Future Project」

HISでは20代、30代の社員が全国から集まり、「マーケティング」をメインテーマとして学習を深めながら、部署を超えて複数のチームにわかれ、チームで協働して未来に向けて挑戦したい新しいアイデアを提案していく選抜研修を開催しています。

- 【視座の高さ】会社視点や事業視点で考える経験
- 【視野の広さ】社外の取り組みを学ぶ(他社と交流研修を開催)
- 【視点の違い】多様な視点から捉え、アイデアをカタチに、アウトプットする経験



HIS Future Project 研修風景

研修を通じて、上記に挑戦し、一人ひとりが夢や目標、未来への新たな一步を踏み出し、HIS Group Purpose “「心躍る」を解き放つ”を実現するための4つの行動指針の一つ、「冒険と挑戦」に繋がる場となりました。

社員満足度調査

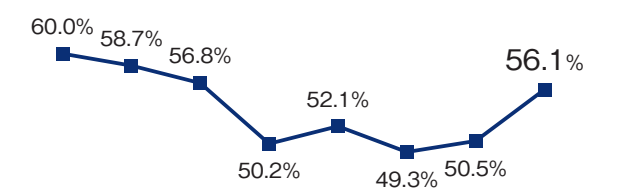
HISでは、全社員を対象とした「社員満足度調査」をFY2013より毎年1回行ってきましたが、コロナ禍で中止を余儀なくされ、FY2023に4年ぶりの実施となりました。

最終設問である「総合的にみて、HISは働きがいのある会社だと言える」という項目の肯定回答率については、前回FY2019より5.6ポイントアップの56.1%となりました。

そして今後の方向性として、「平均評価が低かった設問」「働きがいへの相関性が高いが、全体の平均評価よりも評価が低い設問」に注力し取り組んでいくことで、FY2026には働きがい指数80%を目指すことをスタッフに向けて共有しました。

より働きがいのある会社を目指して、今後もスタッフ一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、DEIBの推進、働きやすい職場づくり、人財の育成に取り組んでまいります。

過去の推移



FY2013 FY2014 FY2015 FY2016 FY2017 FY2018 FY2019 FY2023

	FY2023実績	FY2026目標
働きがい指数 <sup>(※)</sup>	56.1%	80.0%

※社員満足度調査で「働きがいのある会社である」と答えた割合



## 地域社会との共創

### 人々の交流を通じて社会課題に向き合う旅 ～スタディツアー～

HISでは、交流を通して相互理解を促進し、ともに持続可能な社会を実現することを目指してNGOやNPO、地域自治体等と連携してスタディツアーに取り組んでいます。中でも、カンボジアの子どもたちと交流するスタディツアーは2010年より継続的に実施しています。カンボジアはポルポト政権時代の影響を受け、現在も教育人材や学校の設備が整っておらず、一人の子どもに対して授業の時間を十分に確保できず、二部制での授業を余儀なくされている現状があります。また、都市部と農村部の教育格差が広がっていることも、大きな課題です。その状況を解決すべく、2017年春にはNPO法人HEROと協力して子どもたちが無償で通える公立の小学校を建設しました。その後も現在まで、計5校の小学校、および学校内の遊具や図書館の建設に携わり、これらの建設作業には、日本からもツアーとして多くのお客様が参加しています。また完成した後も、学校を訪問するスタディツアーを継続的に実施しています。ツアーでは課外授業を通して、カンボジアの子どもたちに学びの場を届けるとともに、ツアー参加者の方々にとっても、国境や文化を超えた交流の場を提供しています。今後も世界の人々の相互理解を促進し、世界平和に繋がるサステナブルな旅を提案してまいります。(サステナブルな旅の提案についてはP.37にも掲載しています。)



建設した小学校

### Pick Up 第1回「JATA SDGsアワード」で大賞を受賞

一般社団法人日本旅行業協会(JATA)が主催する第1回「JATA SDGsアワード」において、HISのカンボジアの子どもたちに学びの機会と楽しさを届ける継続的な取り組みが評価され、大賞を受賞しました。HISではこの取り組みの他3部門、1グループ会社(ツアー・ウェブ)で奨励賞を受賞しています。



JATAは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



授賞式の様子

### 伝統文化の継承と女性支援 ～マヤ刺繍プロジェクト～

メキシコ法人では、コロナ禍で観光収入が途絶え厳しい生活を余儀なくされていたメキシコ・ユカタン半島に住むマヤ民族の末裔の方々の生活を支援するため、2020年から「マヤ刺繍プロジェクト」を運営しています。このプロジェクトは現地で12年間マヤの村々を支援している、政府認定のNPO法人「Asociacion Pro-Dignificacion de la Mujer Maya. A.C.(日本語名マヤ女性の尊厳を守る会)」とともに立ち上げ、クラウドファンディングを通して日本の皆様からも多くのご支援をいただき事業としてスタートすることができました。

マヤ伝統刺繍は、カラフルな色使いと、自然と共存して生きるマヤ民族の独特の感性が特徴の美しい刺繍です。プロジェクトではマヤ民族オリジナルの刺繍が施された商品を開発し、マヤ村オリジナルのブランド「COCOMAYA」を立ち上げ、ECサイト「Maya Mexico」を開発し販売を行っています。また、マヤ刺繍の商品に加え、メキシコ産の自然や環境に配慮したサステナブルな商品も取り揃えて販売しています。

現在はHISのメキシコ・ユカタン半島のツアーにマヤ刺繍のハンカチを特典ギフトとしてご用意し、ツアーに参加いただくことで支援に繋がる「サステナブルトラベル」を提供しています。今後は、工房の設立によりマヤ民族の女性へ就労機会を提供し、女性の社会的な地位の向上や賃金の増加による生活レベルの改善、子どもへの教育や衛生管理を促進することを目指しています。



マヤ民族の方々とプロジェクトメンバー

### 災害に強い住宅提供の支援

フィジー法人では、サイクロン被害が甚大なフィジーで貧困層の支援を行うModel Town Charitable Trustのプロジェクトを支援しています。このプロジェクトは、貧困層のために災害に強く衛生的な住宅を提供し、教育や医療支援、職業訓練、インフラ整備等のコミュニティ開発を行っています。

HISでは、コミュニティの女性の手作業で生み出された手工芸品「Koroipita Angels」をツアー参加の特典ギフトとして参加者の方々にお渡ししたり、HISのツアーパンフレットで紹介したりするなど、ツアーに参加いただくことで支援に繋がる「サステナブルトラベル」を提供し、この活動の認知度の向上を図っています。



手工芸品「Koroipita Angels」

### チャリティーイベントでカナダの小児医療を支援

カナダのRed Label Vacationsは、旅行事業ブランドTravelBrandsにて、SickKids(トロント大学付属のカナダ国内最大の小児医療センター)を支援するチャリティーゴルフイベント「TravelBrands Annual Charity Golf Classic」を2014年から開催し、2023年9月に開催された8回目では30万カナダドルの寄付金が集まりました。またRed Label Vacationsにおいても、売上の1%を寄付するSickKidsデー、社員向けのチャリティーウォーキングイベントを毎年開催しています。これまでの様々なチャリティー活動で集まったSickKidsへの寄付金は200万カナダドル以上となり、集まった寄付金のすべては、子どもの心臓病治療・研究の発展と、次世代の専門家の育成、設備の改善をするために使われています。これからも、イベントを継続的に開催して、参加者同士の交流促進や健康増進の機会を提供するとともに、子どもたちの健康な未来を願い地域医療に還元する取り組みを続けてまいります。



TravelBrandsからSickKidsへの寄付金贈呈

### 地域の交流人口創出の取り組み

HISでは、自治体と連携し、交流人口創出の取り組みを行っています。鹿児島県では、2022年2月に「インバウンド観光推進に関する協定」を締結し、その後2023年11月には鹿児島県・ベトナム航空・HISの3者で観光促進に向けた連携協定を締結し、定期フライトのない鹿児島ーハノイ(ベトナム)間にベトナム航空がチャーターフライトを運航しました。HISではベトナムツアー、鹿児島ツアー双方をそれぞれの国で企画・販売し、ベトナム法人では、鹿児島県と協力して主要旅行会社を集めた鹿児島の魅力を伝えるセミナーを開催しました。これからもHISのグローバルネットワークやリソースを活かして、旅を通じた地域の活性化に寄与してまいります。



鹿児島セミナーの様子(ベトナム)

### 地域の魅力を国内外にプロモーション

HISでは、自治体と連携して、観光・物産プロモーションやイベント実施、国内外のSNSプロモーションを手掛け、国内外の方々に日本の地域の魅力を発信しています。HISが運営する原宿ツーリストインフォメーションセンター(外国人観光案内所)では、海外の方向けに地域の観光・物産プロモーションイベントを開催しており、2023年1月に行った鳥取県のプロモーションでは、県の観光案内パンフレットやポスターの設置、多種多彩な特産品のディスプレイの展示、あわせてエリアやテーマに沿って展示する特産品に関するイベントを開催しました。いつも多くの人で賑わっている原宿でのプロモーションは、国内外の方に鳥取県の魅力に触れていただく機会となりました。



鳥取県プロモーションイベントの様子

これからもHISのリソースを活かして、様々な形で国内外に地域の魅力を発信し、地域の交流人口、関係人口、定住人口の増加に寄与してまいります。

### Pick Up 岐阜県・美濃市で地域にも喜ばれる観光開発を目指す

清流・長良川、板取川と自然豊かな山々に囲まれた岐阜県中心部に位置する美濃市は、江戸時代の情緒が残る街並みや、手漉和紙技術がユネスコ無形文化遺産として登録された「本美濃紙」が有名です。ここに2021年より地域連携マネージャーとしてHISスタッフが出向し、国内旅行の需要創出、訪日外国人旅行者の受け入れ体制整備の活動をしています。



美濃和紙 灯アート展撮影会 ©atsushi.k.photography

#### 地域連携マネージャー 高橋正樹(HIS 中部事業部)

美濃市は豊かな自然と古い街並みが人々の暮らしと共存する魅力的な地域です。私がここに着任した年には、地元の酒造を巡る体験型バスツアーや、多言語対応の美濃市デジタル観光マップアプリの開発に取り組みました。観光開発の過程で、美濃市の魅力を伝える映像や画像素材が不足していることを課題に感じ、これを解決するためにドローン空撮大会やプロ写真家との共同撮影会を企画・実施しました。季節ごとに開催したドローン空撮大会では、美濃市の美しさを異なる視点から捉えることができ、その映像作品をYouTubeや観光物産展などで発信し、地域の魅力を広く伝えることができました。地元の方からは、「新たな視点から美濃市を見ることで、地元の魅力を再認識できた」との評価をいただきました。



また、江戸時代の情緒が残る街並みを背景に「美濃和紙」を使ったアート作品が幻想的に光る「灯アート展」にあわせて写真撮影会を開催。撮影された写真がSNSで拡散され、美濃市のPRに大いに貢献しました。これからも地域の方々とのコミュニケーションを大切にし、訪れる方と地域住民双方に喜ばれる持続可能な観光開発を目指していきたいと考えています。



○ 社会の未来のための取り組み

地元の高校生と県産食材を活かした商品開発

九州産交グループが運営する九州自動車道宮原サービスエリアでは、2023年9月より熊本県立南陵高等学校の生徒さんとコラボレーションしたソフトクリームを販売しています。「熊本県の魅力をPRできるソフトクリーム」をテーマに、県産食材を使用したソフトクリームのメニュー案を募集し、55名の生徒さんにご参加いただきました。その中から書類審査とプレゼンを行い厳選なる審査の結果、「モンブラン風ソフトクリーム」と「岳間茶ソフトクリーム」の2種類の販売が決定し、販売開始から1週間で400食以上を売り上げました。売れ行きが好調だったため現在も通常商品として販売を行っています。また、同校の生徒さんが栽培する「南陵米」も毎年11月に宮原サービスエリアで販売しています。九州産交グループは、これからも地域の学校や生徒さんとの関わりを深め、活躍の場を提供するとともに、地域活性化に取り組んでまいります。



生徒さんによるプレゼンの様子

海洋プラスチックごみ問題を考えるワークショップ

自然豊かな三河湾に面するラグーナテンボス「ラグナシア」では、次世代を担う子どもや若者が、海に親しみ、未来へ繋がる行動を起こすきっかけ作りとして、ペットボトルキャップを使用したお子様向けリサイクル体験ワークショップを2023年9月より定期的に開催しております。ペットボトルキャップを自転車シュレッダーで粉碎後、専用機械で熱し、型に流し込むことで、オリジナルのキーホルダーを作成するワークショップです。今年度は計7回実施、265名様にご参加いただきました。



粉碎したペットボトルキャップ

近年海洋プラスチックごみ問題が深刻化している中で、このワークショップを通じて、海を守るために日常生活で何ができるのかを考える機会になればと考えております。

オンラインお仕事体験プログラム

HISが運営する旅好きの方ならどなたでも参加できるオンラインサロン「TABIFLEEEEEK(タビフリーク)」では、お子様向け「おしごとけんがく」プログラムを定期的に実施しています。これはHIS社員とサロンメンバーが共同でオンライン配信する無料プログラムです。このプログラムは2022年より5回実施し、これまで消防士、イラストレーター、水族館の職員など30種類以上のお仕事の方にお話しいただき、約4,250名のお子様にご参加いただきました。無料のオンライン配信でこうした機会を提供することにより「子どもたちの体験格差」を解消し、仕事を自由に楽しく選択できる未来に繋がればと考えております。



イメージ

日本の「働く」を元気に ~HR Lab.~

HISでは「働く人に「輝き」を」というスローガンを掲げてHR Lab. (HRラボ)を2022年より運営しています。ラボでは、人事領域で悩みを抱える企業担当者の方々のパートナーとなり、課題解決に貢献することを目的として、情報提供とソリューション提供を行っています。情報提供の一環としては、人事・研修関係の情報発信の場としてコミュニティサイト「Hcross」を運営。開設から2年弱で450社800名の会員登録をいただきました。会員向けイベントとして、人材育成・女性活躍・エンゲージメントなどの人事課題をテーマとしたConferenceの実施や交流会などを定期開催し、先進企業の事例を学び、人事ご担当者様同士で情報交換する場を提供しています。また、ご要望に応じて人事領域の課題解決のための各種ソリューション提供なども行っています。さらに、企業・官公庁の人事課題として健康経営が注目されていることを受け、2024年2月には、公益財団法人と健康経営の推進に関する包括連携協定を締結。専門的知見を活かした情報やコンテンツ提供を行い、健康経営の推進にも寄与してまいります。



HR Lab.ウェビナー

HISサステナビリティサイト 社会  
<https://www.his.co.jp/sustainability/social/>



お客様への安心・安全の提供

旅行の安全・品質管理

HISでは、お客様に安心安全で品質の高い旅行商品を提供し、国内外での旅を楽しんでいただくために、HIS独自の「品質安全管理ガイドライン」を作成し、HIS海外支店ならびにお取引先様にも周知を図り、品質管理および安全管理に努めています。車両やオプションツアー等の取り扱いにおいては、適宜実査を行い精査したうえで選定しています。また、旅行商品の造成においては、安全管理に対する社員の知識・見識向上のための社内研修を定期的実施しています。「また次もHISを利用したい」「やっぱりHIS!」とお客様に選ばれる会社であり続けられるよう、引き続き取り組んでまいります。



オンライン研修の様子

誰もが世界と繋がれるサービスの提供

ユニバーサルツーリズム

HISでは、お身体の不自由な方、健康に不安のある方、障害のある方にもご旅行を楽しんでいただけるよう、日本国内のHIS店舗でご予約の際に健康アンケートを実施し、お客様の状況を把握したうえで旅行の提案や手配を行っています。また、HISのグローバルネットワークを活用して旅先での受入体制の整備もワンストップで行っております。よりきめ細やかなサポートを必要とされるお客様向けには、2002年より「ユニバーサルツーリズムデスク」を設置し、介護・福祉関連の専門知識を持ったスタッフや手話のできるスタッフが旅行の相談から手配・同行まで担当することで、いつでも自由に気兼ねなく旅を楽しめるようお手伝いさせていただいております。2024年1月より、車椅子旅行をより自由にお求めやすく楽しんでいただくために、「車椅子利用の現地発着ツアー」の販売を開始しました。ツアーは、車椅子旅行の個人手配が難しい人気観光都市トルコ・イスタンブール、エジプト・カイロから提供を開始。日本語ガイドが現地の行程を同行し、ホテルはバリアフリールームに滞在、観光では車椅子の動線を確認したルート福祉車両でご案内いたします。これからも、長年培ってきたノウハウを活かして、安心してより快適にご旅行を楽しんでいただきたいと考えております。【障害、車椅子の表記について】HISでは、公的文章や条約と表記を揃え、固有名詞を除き、原則として漢字での表記にしております。



車椅子利用ツアーの様子

Pick Up 手話通訳付きのアメリカ野球観戦ツアー説明会を開催

2023年7月に新宿本社営業所にて「ロサンゼルス・A野球観戦ツアー」の旅行説明会を手話通訳付きで開催しました。スポーツ観戦ツアーの中でも人気が高いこのツアーは、渡米の目的自体が試合観戦というお客様も多いため、基本的な旅の情報だけでなく、球場へのアクセス・入場方法ははじめ、観戦席情報等「知っているとさらに楽しめる」情報を、野球観戦ツアー添乗経験のあるHISスタッフが細かくお伝えしました。そこに、自身も聴覚障害を持つHISスタッフが同時手話通訳者として入り、聴覚障害があるお客様にも説明会にご参加いただきました。お客様も旅行出発前の不安が大きく解消されたようです。観戦ツアーにはトラベル手話通訳サポーター®が同行したことで、ツアー中も不自由なくご旅行や試合観戦を楽しんでいただきました。これからも、障害の有無に関わらず、誰もが楽しめる旅の提案をしてまいります。



ツアー説明会の様子

※トラベル手話通訳サポーター：旅に同行して、現地ガイドの説明や搭乗手続きなど旅における情報を手話通訳するHIS独自のサービス。HISユニバーサルツーリズムデスクでは、トラベル手話通訳サポーターが同行し案内する募集型ツアー「しゅわサボ」、聴覚障害をもつ手話対応専任添乗員が同行する募集型ツアー「しゅわ旅なま」を企画販売しています。

オンライン体験ツアー

コロナ禍に誕生したオンライン体験ツアーでは、観光からショッピング、占いなど国内外の様々なコンテンツをご用意しています。2020年のサービス開始以来、総累計15,000コース以上、総勢30万人以上の方にご参加いただいています。録画コンテンツだけでなく、24時間ライブツアーや世界の初日の出ツアーなど、HISのグローバルネットワークを活かした特別企画も開催し、海外旅行へでかけることが難しい方にも気軽に世界と繋がれる機会を提供しています。



イメージ



# ガバナンス (Governance)

## ガバナンスへの取り組み

### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

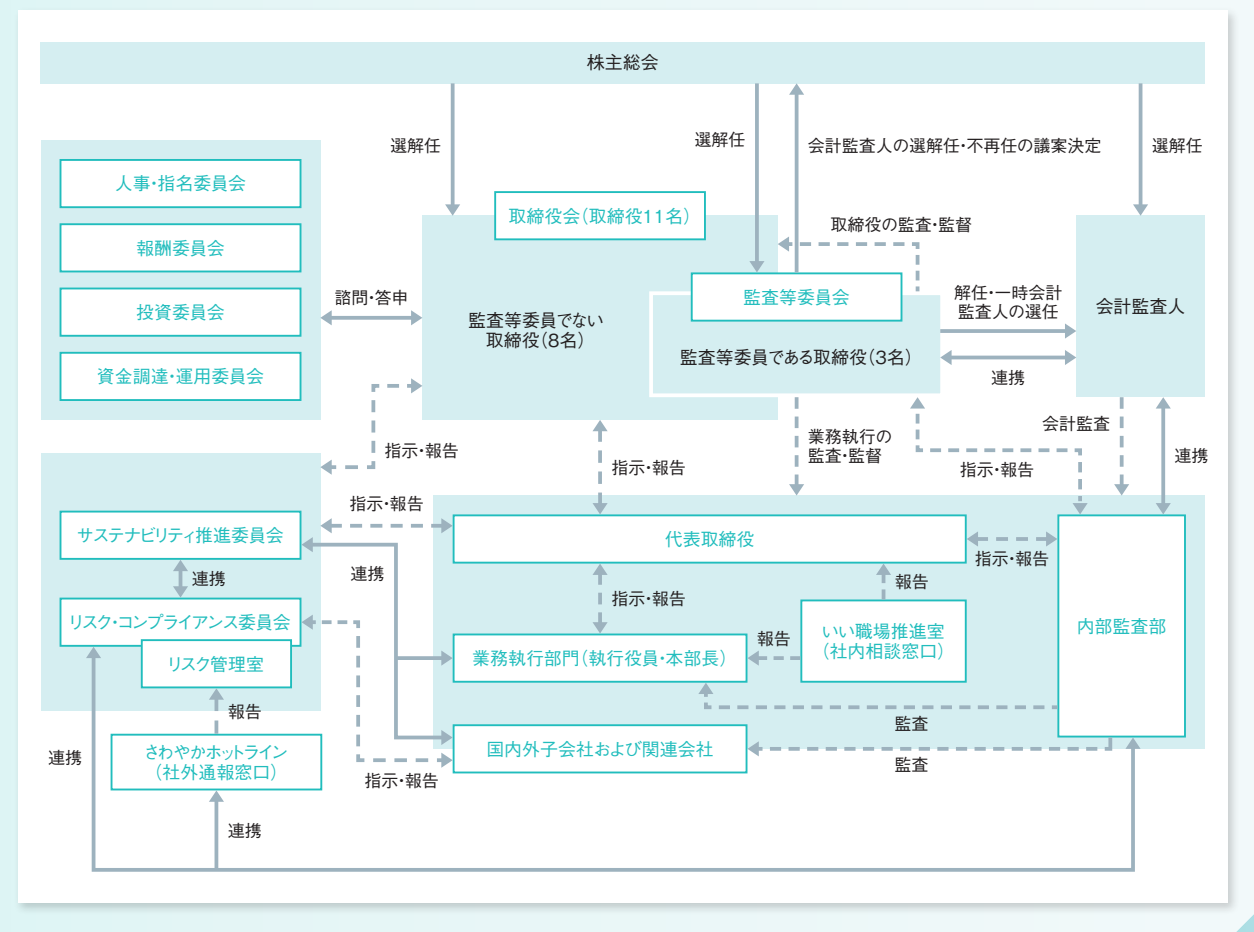
HISグループは、マテリアリティに「ガバナンス強化」を掲げ、HIS Group Philosophyに基づき、ステークホルダーの皆様から信頼され、選ばれ続ける企業を目指しています。  
また、従業員一人ひとりが行動憲章に則り、ステークホルダーの皆様の権利・立場や健全な事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の醸成に取り組んでいます。

### コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は、法令・定款・社内規程に従って重要な業務執行を決議によって決定し、各取締役の業務執行状況および主要なグループ会社の業績についての報告を受けております。各取締役においては、取締役会規程、業務分掌規程および職務権限規程などに基づいた役割と権限に従い、適正かつ迅速に意思決定を行い、常に効率的に職務を執行しております。取締役会における重要事項は、適切に保持、記録、および管理し、法令もしくは金融商品取引所の適時開示規則に従い、会社が株主や投資家の適切な判断に有用であると判断した場合に、適切な開示を行うように努めております。監査等委員会においては、代表取締役等との間で意見交換会を定期的に開催し、会計監査人からも定期的に報告を受けております。また、内部監査部では、監査等委員会と緊密な連携を図り、必要に応じ、監査等委員会の指示を受けて内部監査を実施し、結果を監査等委員会に報告する体制を整備しております。

コーポレート・ガバナンス体制図

2024年1月25日現在



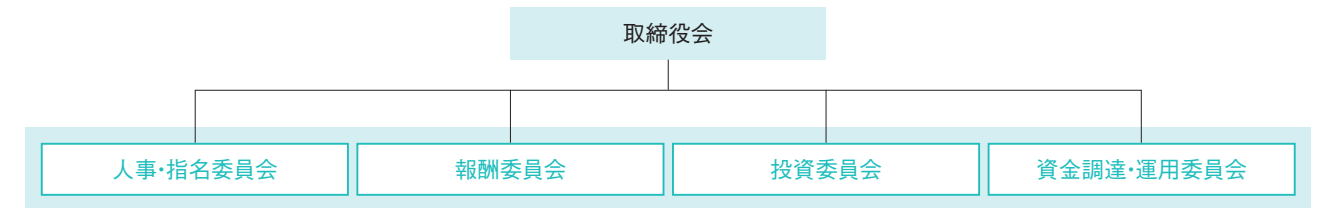
### 取締役会での審議内容

取締役会では、取締役会規程に基づき、法定事項に加え、四半期決算の承認、執行体制、財務施策、投資およびM&A案件の審議等を実施しています。また、各取締役から管掌領域の定期報告、および各グループ会社代表より業績報告・今後の事業計画についても報告を受けています。

FY2023においては、コロナ禍からの回復期を迎え、黒字化達成に向けての事業戦略および、2023年12月に発表したFY2024-2026中期経営計画策定にあたり、旅行業を主軸とした「コア領域の変革」とポートフォリオ再構築に向けた「新規領域への挑戦」を3か年方針とし、経営計画について重点的に審議いたしました。

なお、取締役会での審議をより活性化するため、独立社外取締役4名に対し、直接的もしくは監査等委員会専任スタッフ、経営企画本部が情報交換の場を設け、客観的な認識共有と提言強化のための相互確認を推進しております。

### 諮問委員会



取締役会には、4つの委員会が諮問委員会として附属しています。

取締役と執行役員の人事関連は人事・指名委員会、取締役と執行役員の報酬は報酬委員会、投資に係る案件は投資委員会、重要な資金調達または運用などについては資金調達・運用委員会、それぞれの委員会において社外取締役を含めた委員による審議を重ねた後に、取締役会の決議事項または報告事項として付議され、審議されます。取締役会では、各委員会の答申を尊重し、議案を決議しております。また、諮問委員会における独立社外取締役の構成比など、各委員会の客観性と独立性を強化する方向性での検討も進めております。

### 取締役会の実効性評価

年一回、記名式アンケートにより各取締役による自己評価を実施し、結果を取締役会にて分析・検討し、改善に繋げています。

#### FY2023における主な改善点

- ・社外取締役の多様性が増したことで取締役会の議論が活発化した
- ・HIS Group Philosophyが多言語対応し、グループ全体に広く浸透しつつある
- ・リスク・コンプライアンス委員会が定期的に開催されるようになり、ガバナンス強化に繋がった

#### 今後取り組むべき課題

- ・後継者育成計画の策定へ向けての審議
- ・取締役の多様性(性別、国籍等)向上へ向けた方針と実行計画の策定
- ・中期経営計画の進捗管理と、事業ポートフォリオの再構築へ向けての審議
- ・サステナビリティなど非財務情報についての定量的な目標も含めた審議

HISサステナビリティサイト ガバナンス

<https://www.his.co.jp/sustainability/governance>





役員体制

取締役・監査役のスキルマトリックス

氏名	役職	管掌	諮問委員会 <sup>*1</sup>	FY2023 取締役会・諮問委員会 出席回数	スキル・経験						
					企業経営	旅行事業	事業戦略 イノベーション	財務・会計	人事・労務	法務 コンプライアンス	デジタル戦略 ICT
 矢田 素史	代表取締役社長 (CEO)	-	人事・指名委員会委員長 報酬委員会委員長 投資委員会委員長 資金調達・運用委員会委員長	12/12 9/9 7/7 10/10	○	○	○	○	○	○	○
 中森 達也	専務取締役	インバウンド事業戦略担当	人事・指名委員 資金調達・運用委員	12/12 9/9 10/10	○	○	○				○
 織田 正幸	常務取締役	グループ戦略、関係会社、 M&A担当 兼 最高情報セキュリティ責任者	報酬委員 投資委員	12/12 9/9 7/7 10/10	○	○	○				○
 山野 淳	取締役 上席執行役員	法人営業本部長	投資委員 資金調達・運用委員	12/12	○	○	○				
 五味 睦	取締役 上席執行役員	新規事業戦略担当		12/12	○	○	○				
 澤田 秀太	取締役 上席執行役員	個人旅行事業戦略担当 兼 国内旅行担当 兼 投資戦略本部長	人事・指名委員 報酬委員	12/12 6/6 4/4 8/8	○	○	○				○
 大和田 順子	独立社外取締役	-	人事・指名委員 報酬委員 投資委員	10/10 5/6	○		○	○	○	○	○
 香川 進吾	独立社外取締役	-	投資委員 資金調達・運用委員	9/10 6/6	○		○				○
 関田 園子	取締役 監査等委員	-	資金調達・運用委員	12/12 7/7			○		○	○	
 鍋島 厚	独立社外取締役 監査等委員	-	人事・指名委員 報酬委員	12/12 9/9 10/10	○			○	○	○	
 金子 寛人	独立社外取締役 監査等委員	-	人事・指名委員 報酬委員 投資委員 資金調達・運用委員	10/10 5/5	○		○	○	○	○	

■ 取締役会<sup>\*2,\*3</sup> ■ 人事・指名委員会<sup>\*4</sup> ■ 投資委員会<sup>\*4</sup>  
 ■ 報酬委員会<sup>\*4</sup> ■ 資金調達・運用委員会<sup>\*4</sup>

- ※1 2024年3月現在
- ※2 大和田取締役、香川取締役、金子取締役は、2023年1月就任のため、取締役会開催回数が異なります。
- ※3 記載の取締役会の開催回数のほか、取締役会決議があったものとみなす書面決議が4回ありました。
- ※4 期中の諮問委員構成変更のため、開催回数が委員により異なります。

執行役員

高野 清	本社情報システム本部長 兼 本社DX 推進本部長
福島 研	株式会社エイチ・アイ・エス デザイン アンド プラス 代表取締役社長
岩間 雄二	九州産業交通ホールディングス株式会社 代表取締役社長
波多野英夫	海外事業統括本部長 兼 H.I.S. CANADA HOLDINGS INC. PRESIDENT & CEO
有田 浩三	個人旅行営業本部長 兼 海外旅行担当
片岡 由佳	エイチ・エス損害保険株式会社 取締役執行役員 財務経理担当 兼 財務経理部長
小田孝之介	北中南米・ハワイ・マイクロネシア リージョナルカンパニー プレジデント
日根 克巳	株式会社ミキ・ツーリスト 代表取締役社長
花崎 理	本社経理財務本部長
瀬川 活	経営企画本部長 兼 経営管理本部長 兼 関係会社管理本部長
熊本 智久	中南米地域本部長 兼 メキシコ法人 統括支店長
福井 茂	GROUP MIKI HOLDINGS LIMITED PRESIDENT & CEO 兼 ヨーロッパ・中近東・アフリカ リージョナルカンパニープレジデント
赤尾 昇平	本社人事本部長
津田 周和	アジア・オセアニア リージョナルカンパニー プレジデント

役員報酬

役員報酬の決定方針

2021年2月25日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。

【報酬の算出方法と報酬決定に関わる規定】

HISの役員の報酬等の額は、株主総会で承認された報酬総額の範囲内で、各取締役(監査等委員を除く)への配分は、報酬委員会の答申を得たのち、取締役会において、また、各監査等委員である取締役への配分は、監査等委員の協議により、それぞれ決定しております。算定方法の決定に関する方針は、取締役会および監査等委員の協議により定められた報酬の内規に基づいており、報酬体系・報酬決定の基準・標準報酬額などに関する定めを置いております。

【報酬方針】

- 公平性の高い、競争力のある報酬制度であること
- ・ 国籍・性別を問わず、職責と成果に基づき、優秀な人材の獲得・保持が可能となる報酬体系および報酬水準
- 企業価値・株主価値向上を重視した報酬制度であること
- ・ 業績連動性が高く、中長期的な企業価値・株主価値の向上を重視した報酬体系および報酬構成

当社取締役(監査等委員を除く)の報酬体系

報酬の種類	目的・概要
固定 a. 基本月額報酬	取締役としての役割と役位に応じて金額を決定し、月額固定報酬として支給。
変動 b. 業績連動報酬 (経常利益に連動)	過去10期間(連結会計年度)のうち、上位3年間の経常利益の平均値を基準値とし、原則、当期の経常利益額から上記の基準値を差し引いた額の7%相当額を支給額とする。ただし、業績動向に応じて、上記の7%に±1~2%の調整を加えて算出。 ・ 具体的な支給額は、事業年度ごとの業績目標の達成度等に応じて基準額の0%~200%の範囲内で決定。 ・ 各事業年度終了後に一括して支給。
c. ストック・オプション	中長期的な企業価値向上を目標とした報酬であり株式報酬型ストック・オプション制度に基づいて設計(総額は株主総会にてご承認いただいた年額(年額100百万円以内)の範囲内で支給)。
d. 譲渡制限付株式報酬	取締役(監査等委員である取締役、非業務執行取締役、非常勤取締役および社外取締役を除く)に対し、譲渡制限付株式を割り当て、当社株式を保有させることで当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、対象取締役と株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的(総額は株主総会にてご承認いただいた報酬限度額年額(年額100百万円以内)の範囲内で支給)。 ・ 基準額は、月額報酬 × 役位別倍率で算出

※FY2023は世界的な新型コロナウイルスの蔓延により、業績に大きな影響を受けているため、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等は、上記の報酬構成比に抛らず報酬委員会にて審議し、取締役会において審議・決定しております。

報酬構成比率

報酬種類	基本報酬		役員賞与		
	a. 基本月額報酬	b. 業績連動報酬	c. ストック・オプション	d. 譲渡制限付株式報酬	e. 業績連動
業績連動の有無	固定	業績連動	業績連動	業績連動	非業績連動
支給時期	毎月	年1回	中期経営計画終了時	各役員の退任時	
報酬構成比	40%~48%	32%~40%	5%~9%	11%~15%	

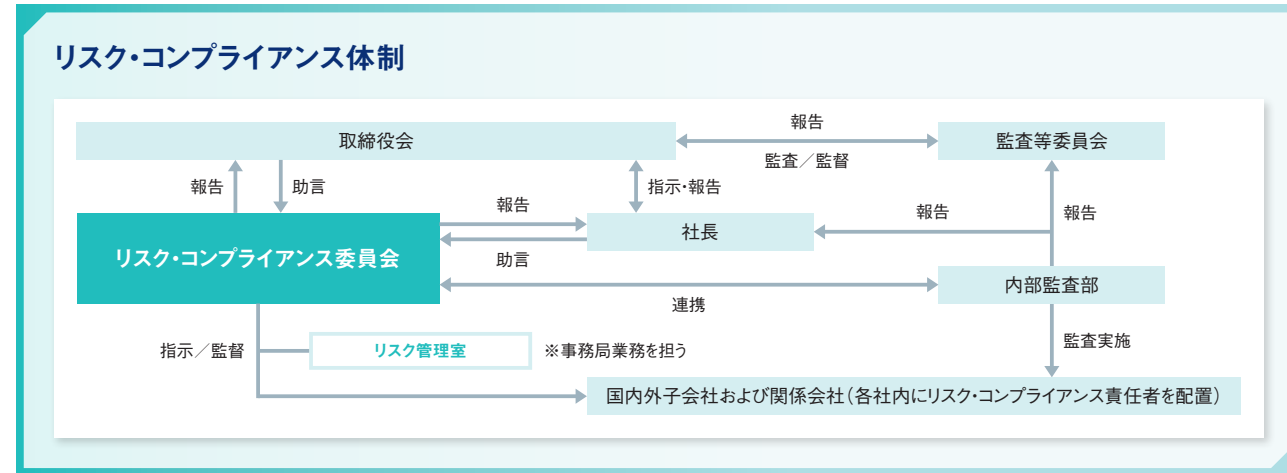


## コンプライアンス・リスクマネジメント

### コンプライアンス基本方針 「正々堂々」

常に化する社会の潮流にアンテナを張り、社会の潮目を理解しながら「バランスと倫理観」を持って正々堂々と行動すること。HISグループがステークホルダーの皆様から信頼され続けるために、この基本方針を貫き、一人ひとりがHISグループの顔であるという意識を持って実践します。

### ○ コンプライアンス体制 ～組織と運営～



#### リスク・コンプライアンス委員会

HISグループのリスクマネジメントおよびコンプライアンスの徹底のために必要な体制を整備し、これらの推進を通じて業務の適正を確保することを目的としたリスク・コンプライアンス委員会を設置しています。当委員会は四半期ごとに開催され、コンプライアンスに関するHISグループ各社からの報告、情報共有、議論を実施しています。

#### リスク管理室

リスク管理室は、リスク・コンプライアンス委員会の事務局としての役割を担います。HISグループ全体のリスクに関する情報を収集し、リスク・コンプライアンス委員会に共有します。発生しうるリスクの洗い出し・分析・評価・対応に係る管理体制の整備や、リスクの顕在化を未然に防止するために関係各署と連携して活動します。また、HISグループ各社において選出されたリスク・コンプライアンス責任者と連携し、各社にコンプライアンスの徹底を促します。

### ○ 内部通報制度

あらゆるリスクを早期に発見し対策を講じることを目的として、各種相談・通報窓口を設け、コンプライアンスや業務環境に関わることなど、幅広い内容に対応しています。社内窓口のほか、専門機関に委託した外部窓口を設けるとともに、相談・通報したことを理由に不利益な扱いを受けないよう、関係者の守秘義務を徹底し、関連情報を厳重に管理しています。それらにより利用者が相談・通報しやすい環境を整え、自浄作用を高めています。

### ○ FY2023 コンプライアンス推進活動

活動内容	実績	実施者	手段
リスク・コンプライアンス委員会	4回	委員会委員	対面形式(一部オンライン)
コンプライアンス研修	4回	リスク管理室	動画視聴・eラーニング
リスク・コンプライアンス報告共有	12回	リスク管理室	リスト提出・委員会報告
コンプライアンス意識調査	1回	リスク管理室	アンケート方式
内部通報制度利用促進	12回	リスク管理室	ニュースレター配信

### ○ 事業等のリスク

HISグループのリスクを洗い出した主な項目は右記の通りです。予防策を実施するための体制を整備し、定期的なリスク管理の確認、見直しを行うことにより、リスクの低減と未然防止に取り組めます。また、グループ全体のリスク管理の観点から、子会社・関連会社からの即時報告および定期的な報告を実施しています。

- 経済・社会情勢の変化
- 市場の変化
- 技術革新への対応
- 提供するサービスの安全管理・品質管理
- システム・設備の障害などによるサービスの中断・品質低下
- 人材の育成・確保
- 気候変動・環境規制
- ガバナンス
- 経理・財務

## 株主・投資家との対話

### ○ 株主・投資家との対話に対する考え方

株主の皆様や投資家の皆様等(以下、「株主等」といいます)との建設的な対話が、HISの中長期的な企業価値の向上と持続的な成長に資すると考えております。HIS Group Philosophy、HISグループの事業環境、経営陣、経営方針、事業施策等に対する理解を深めていただくとともに、株主等の視点によるHISへの評価を知り、提言が得られる良い機会であると捉えています。

HISは、このような機会を、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に役立てるようと考え、株主等との建設的な対話を促進するために、以下基本方針を定めております。

- 当社は株主等との対話のための活動を企画・実行する専門部署(IR室)を設置しています。
- 株主等との対話全般はIR室が担当し、代表取締役社長がこれを統括しています。株主等からの要望や対話の主題等を踏まえ、合理的な範囲で経営陣も対話に臨みます。
- IR室は、株主等との円滑な対話を促進するため、関連部署と定期的なミーティングを実施し情報を共有する等、有機的な連携を図るとともに、各事業セグメント会社とも適宜情報交換を実施いたします。
- 株主等との建設的な対話は、株主総会および決算説明会のほか、個別面談およびIRフェアへの参加、施設見学会などを通じて、中長期的な視点による株主等の関心事項に基づいて実施し、当社の経営活動や事業運営に対する株主等の理解促進に努めています。
- 株主等との対話から得た意見・要望・懸念等については、経営陣および取締役会に適時報告し、経営活動や事業運営に活かしていきます。
- 株主等との対話では、未公表の重要事実を開示しません。

以上を基本方針として、体制を整備しながら取り組んでまいります。

### ○ FY2023 主な活動

#### IRカレンダー

第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期					
2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2023年	2023年	2023年				
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	15日 決算発表	25日 定時株主総会		15日 第1四半期決算発表			14日 第2四半期決算発表				13日 第3四半期決算発表
		26日 有価証券報告書提出									

対象	イベント	実績	対応者	開催方法・テーマ
株主	株主総会	2024年1月	代表取締役社長ほか	対面形式
個人投資家	日興 WEB IR (主催: SMBC日興証券株)	1回	代表取締役社長	WEB
機関投資家・アナリスト (国内・海外)	決算説明会	4回	代表取締役社長ほか	ハイブリッド型開催 会場・オンラインにて対話型の質疑応答
	社長スモールミーティング	3回	代表取締役社長	決算・中期経営計画
	海外IR	1回	代表取締役社長	対面形式 決算
	個別ミーティング	179件 228社	代表取締役社長 IR担当	オンラインもしくは 対面での対話
	施設見学会	1回	担当役員	HISグループ理解促進のため各種施設見学会を実施 (開催実績) 変なホテル東京 浅草田原町

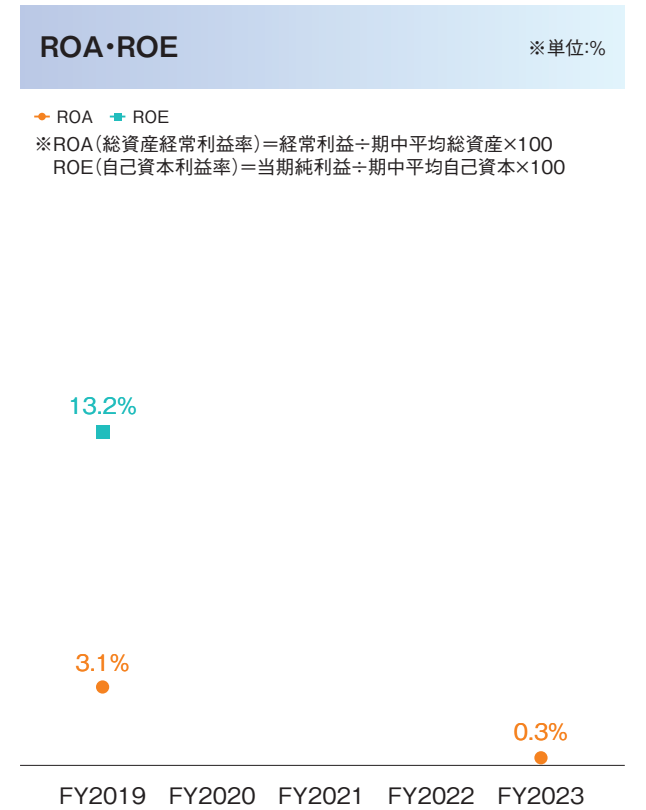
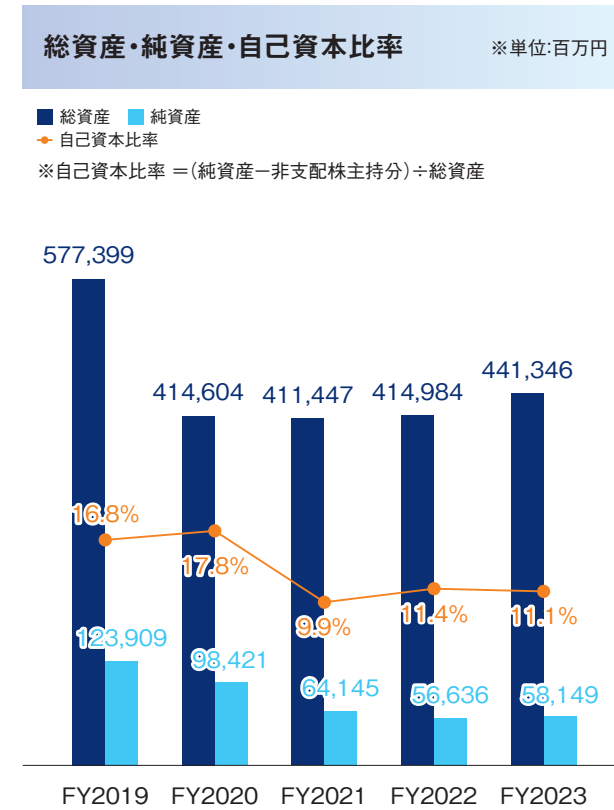
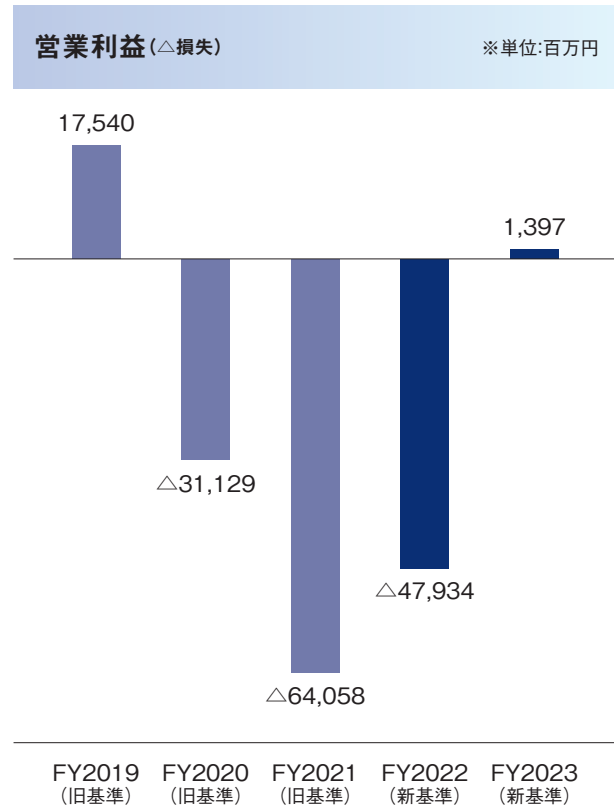
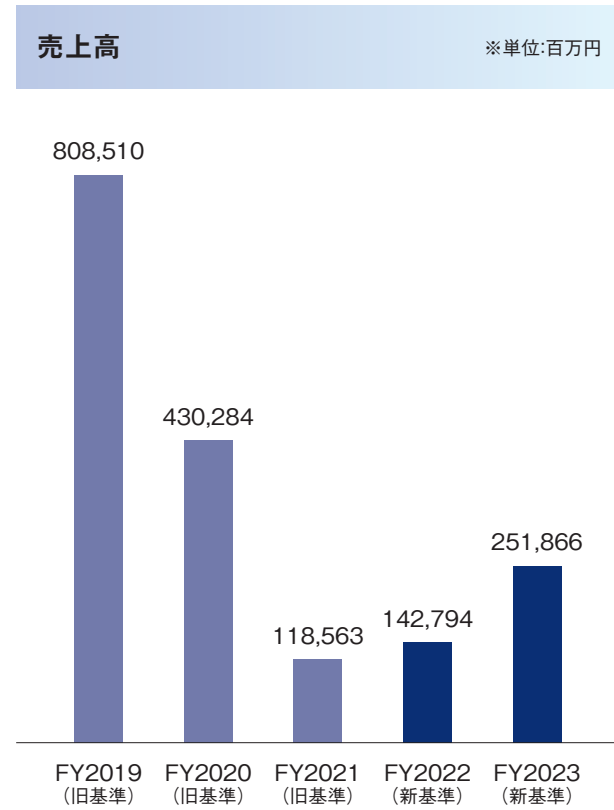
### ○ 株主・投資家との対話の経営へのフィードバックと対応

機関投資家・アナリストとの個別ミーティングでの質疑およびコメントの内容を月次で、経営層および関連部署へ共有しているほか、証券会社発行のアナリストレポートについても発行の都度、共有を行っております。また、機関投資家・アナリストの方からのヒアリングポイントを参考に、決算説明会資料のアップデートをはじめ、開示情報の拡充、統合報告書の記載内容の充実を図っております。

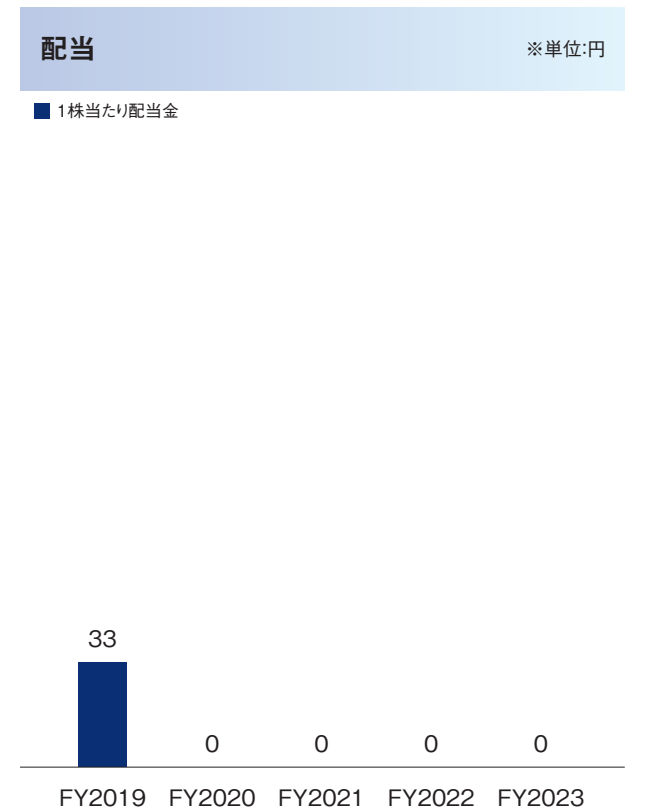
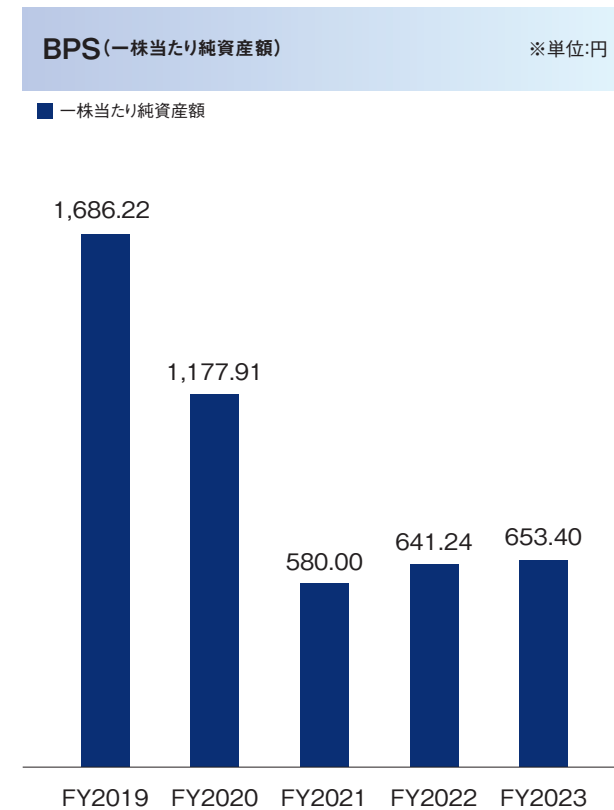
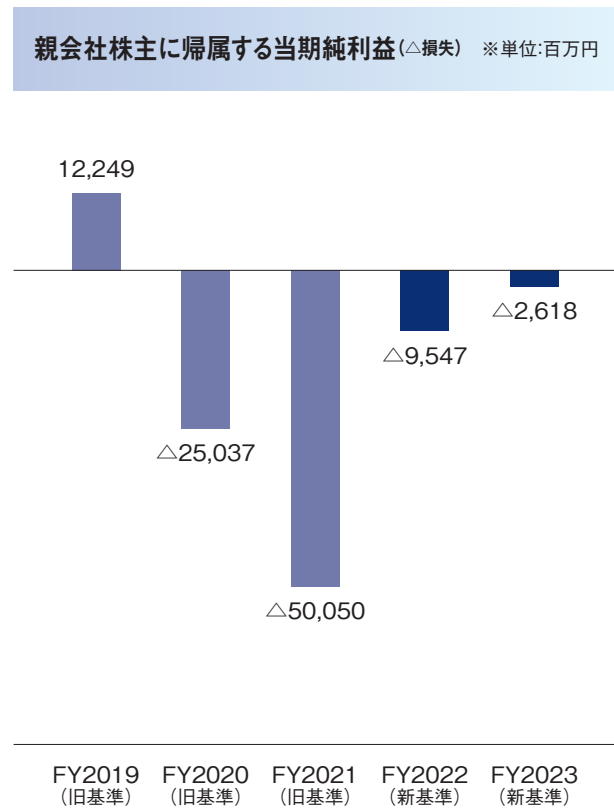
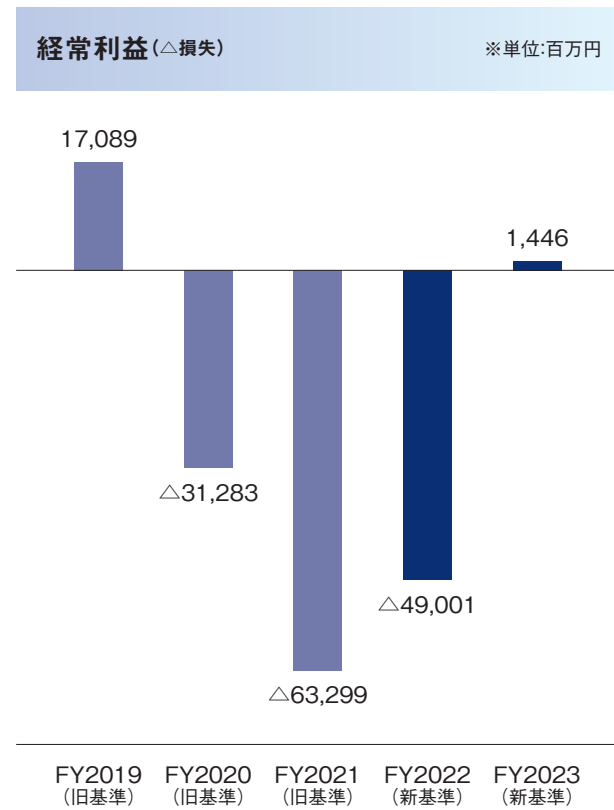


# 連結決算

※各データは、HIS10月期決算に基づきます。



(注) 損失が計上されている年は、記載を省略しています。





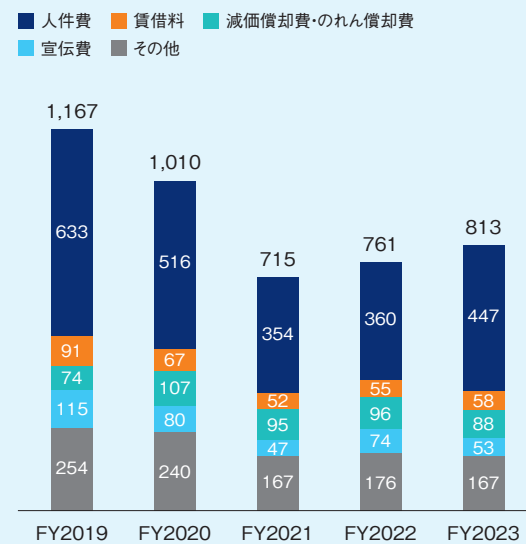
### 財務基盤の強化

・コロナ前90%の経費で事業量をコロナ前の水準に戻す

・限られた投資予算は収益性・将来性の高い事業へ集中

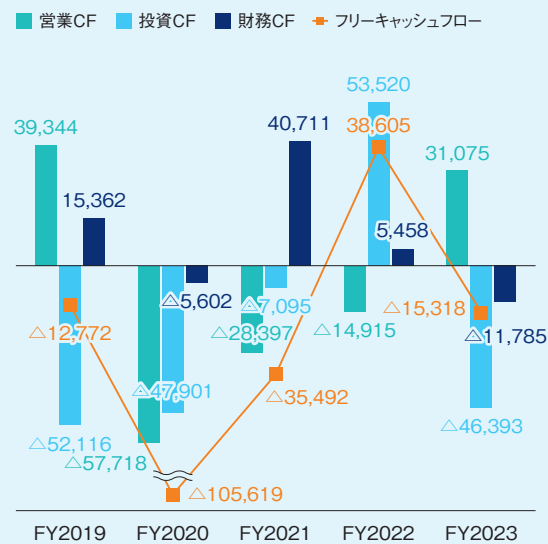
#### 販管費の推移

※単位:億円



#### キャッシュフローの推移

※単位:百万円



※各データは、HIS10月期決算に基づきます。

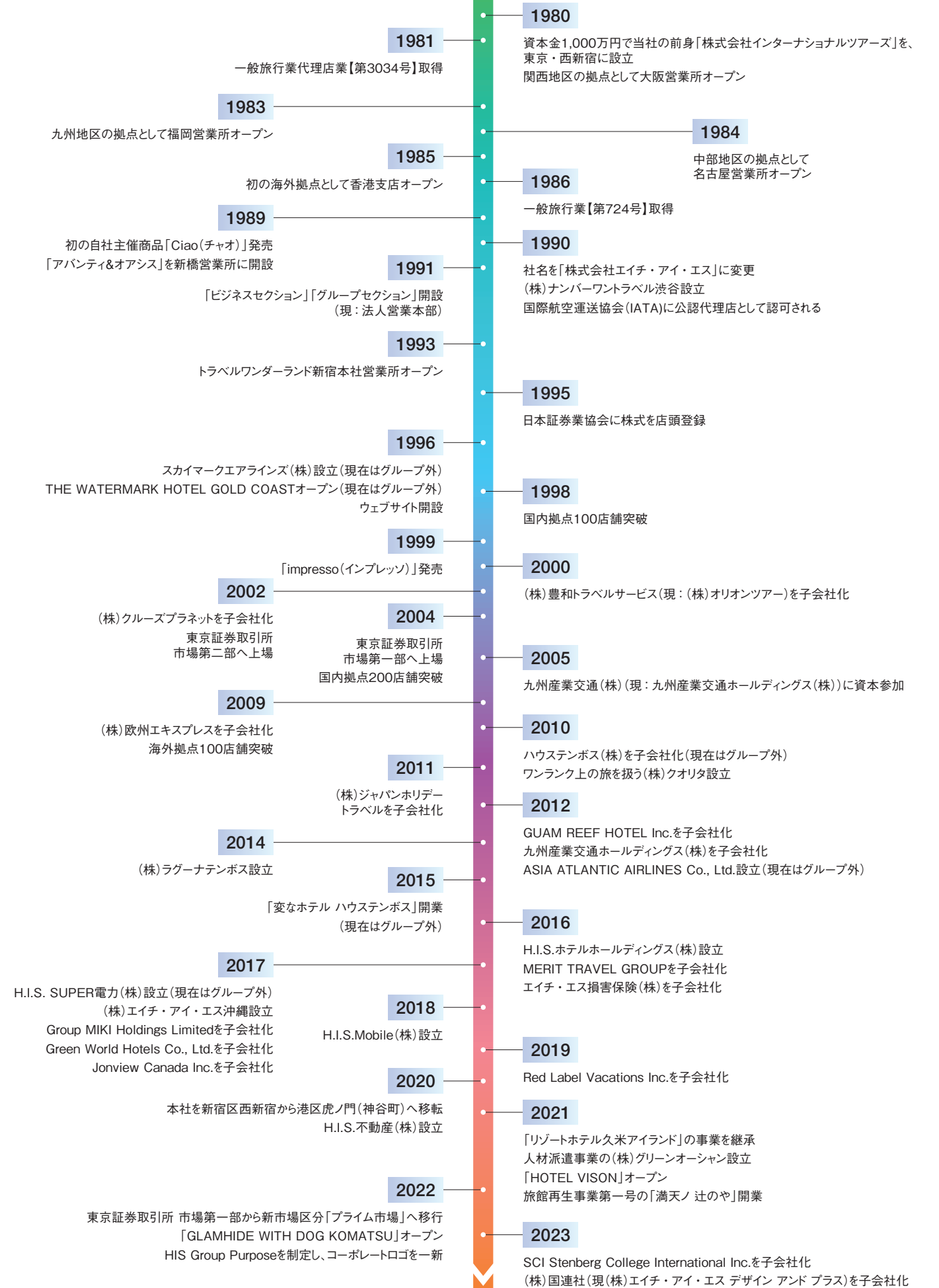
### 施策の方針

#### (1) 自己資本比率目標20%

- 資本増強(本業での利益積上げ)
- 有利子負債の削減

#### (2) フリーキャッシュフローの改善

- 各事業セグメントでの収益率向上
- 設備投資の見直し





## この先の未来に向けて。

平素より御高配を賜り、誠にありがとうございます。

お客様をはじめ、株主の皆様、関係者の皆様より日々温かいお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。

### ○ 旅人のサポーター

1980年12月、机二つ、電話一本から始まったHISの冒険は、自ら変化を起こし挑戦を続けながら、未来を創造し、時代に合った変化・進化を体現して走り続けてきました。

創業当時、旅行は誰もが楽しめる環境ではなく、その環境を改革することを使命とし、「1人でも多くの人に世界を旅してほしい」「世界に出て感じた想いや気づきを、自分自身や社会の中で力に変換してほしい」「旅を通じて得た経験から新しい扉を開いてほしい」これらの想いは創業当時から今も、そして未来も変わらないHISの創業の精神です。

これからも世界中の人々の距離が今まで以上に近くなることを切に願い、自分の可能性を信じて旅立つ旅人の環境を整える使命を追求し続けたいと思います。

### ○ 世界平和への想い

争いのない世界こそが理想であることは、誰もが思っていることです。しかし、絶えず様々な争いが起こっているのが現実であり、それらの原因や要因は、その立場や現場に立ってみなければわからないことも多いと考えます。

我々の事業は、異なる世界や人々を結び付け、文化や思想が交わる機会を創出することができ、その機会に関わることによって、お互いの理解は深まっていくと信じています。国を豊かにするのも、世界を平和にするのも人です。人が国をつくり、人が平和をつくるのです。そのためには、人々の交流から相互理解を促進させること、争いの原因になるような生活に関わる事業領域で革新を生み出すことが必要です。人々の笑顔の輪が世界に広がっていく事業に今後も取り組んでまいります。

### ○ 常に挑戦者であること

AIの技術革新や環境保全への対応など、世の中の価値観が変わり、今後ますます変化のスピードは加速していきます。しかし、今までも世界は様々な変化を受け入れて今の時があり、HISも常に様々な提案を世の中に投げかけ良い変化を起こし、一つひとつ紡いできました。人類の創造的発展に寄与することが、世界平和にも寄与する。この想いを着実に実行し、これから10年、50年、100年後も世界の皆様に愛される企業として、挑戦し続ける所存でございます。

コロナ禍を経験し、観光業が担う役割の大きさと、旅行に対する人々の熱量の大きさを改めて再認識し、身の引き締まる思いです。これからも、HISグループに皆様の変わらぬご理解、ご支援を賜りたくお願いいたします。



株式会社エイチ・アイ・エス  
最高顧問

澤田 秀雄

# Founder Message



2023年10月31日現在

商号	株式会社エイチ・アイ・エス
上場市場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード9603)
登録番号	観光庁長官登録旅行業第724号
資本金	100百万円
設立	1980年(昭和55年)12月19日
本社	〒105-6905 東京都港区虎ノ門四丁目1番1号
売上高	連結2,518億円
従業員数	連結11,816名
加盟団体	日本旅行業協会(JATA) 国際航空運送協会(IATA)
取引銀行	三井住友銀行 みずほ銀行 その他
ウェブサイトにおける情報提供	HISグループ コーポレートサイト <a href="https://www.his.co.jp/">https://www.his.co.jp/</a>



本社エントランス

# HIS

## 編集方針

本報告書は、HISグループの経営および企業活動全体をお伝えするため、経営の方向性や戦略、事業概況に加え、サステナビリティなどの非財務情報を総合的に取り入れて編集しています。  
なお、報告書掲載の画像はすべてイメージです。

## 見直しに関するご注意

本報告書中の将来の見直しについては、HISが現在入手可能な情報から、報告書の作成時点において行った予測をもとに記載しているもので、一定のリスクや不確実性を内包しています。したがって、実際の業績が本報告書に記載された見直しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

## 編集

株式会社エイチ・アイ・エス

瀬川 活	花崎 理	加治木 宏	大橋 裕直	林 浩二	三浦 達樹
宇佐美 加奈	猿渡 充	山崎 祐介	木村 方則	小泉 優樹	河村 智子
野田 恵	宗松 鈴菜	本田 凜	佐藤 航大	小幡 敬之	佐藤 真梨

H.I.S.ホテルホールディングス株式会社

松本 真実

株式会社ラグーナテンボス

中川 絢也香

九州産業交通ホールディングス株式会社

鈴木 理智佳

H.I.S. Mobile株式会社

吉澤 孝治

株式会社グリーンオーシャン

松井 太一

発行日 2024年3月25日